

四国校友会会報



第200号



創刊200号記念誌
令和4年10月

200号記念記事

●四国電友会会報200号発行にあたって

電友会四国地方本部長 小田 尚見……………3

●四国電友会会員の皆様へ

NTT西日本四国支店長 立石 篤志……………4

〃 香川支店長 徳永 久雄……………4

〃 徳島支店長 加藤 拓……………5

〃 高知支店長 斎藤 幸生……………6

NTTドコモ 執行役員 四国支社長

古澤 啓介……………7

テルウエル西日本四国支店長

吉川 和志……………8

元電友会四国地方本部長 六車 美一……………8

元電友会四国地方本部長 西本寿恵一……………8

NTT労働組合四国総支部

執行委員長 吉成 康晃……………9

●四国電友会会報200号お祝い挨拶

電友会本部長 高部 豊彦……………10

●四国電友会会報200号に寄せて

愛媛電友会会長 小田 尚見……………10

香川電友会会長 大西 宏……………11

徳島電友会会長 三馬 定芳……………11

高知電友会会長 井上 淳介……………12

NTT労組退職者の会

愛媛県支部協議会会長 尾崎 公……………12

定期発行記事

香川県支部協議会会長 下河 進……………13

徳島県支部協議会会長 坂本 忠……………13

高知県支部協議会会長 弘田 和幸……………14

元電友会四国地方本部 事務局長 木田 誠剛……………14

前電友会四国地方本部 事務局長 渡辺 隆司……………16

●私は今(愛媛・香川・徳島・高知・県外)

電友会ボランティア活動賞受賞者……………48

電友会ボランティア活動功労賞受賞者……………50

サークル活動代表者……………51

●年譜(電友会四国地方本部役員年譜)

●お知らせ(会報7月号の訂正とお詫び他)

●支部だより

●イベント情報

●俳句

●健康のページ

●ドキュメント

●ボランティア紹介

●敬弔

●表紙の言葉

●編集後記

四国電友会会報200号発行にあたって

電友会四国地方本部長 小田 尚見



四国電友会会報は昭和46年の第1号発行以来本号をもって、記念すべく200号を迎えることになりました。

200号に至るまでの発行過程を振り返ってみますと昭和46年から49年の4年間は年2回の発行で、現在の年4回発行は昭和50年からとなっています。

会報の表紙については、第95号までは会員の皆様から提供して頂いた絵画（水墨画）で飾られ、第96号からは写真が入るようになりました。

また、初めての表紙カラー版は第100号記念号（平成9年10月）で、その後暫くの間はモノクロ版の写真となり、第157号（平成24年1月）から現在のカラー表紙となりました。

このような発行過程を経て第200号を迎えられたことは、本誌に関与されてきた諸先輩の方々や各県事務局各位の大変なご尽力によるものと感謝申し上げます。本誌に対してご支援を頂いたNTT及びNTTグループ会社並びに関係各社の皆様に深く感謝申し上げます。

また、本号に対しまして四国電友会の顧問で居られるNTT四国支店長様、香川支店長様、徳島支店長様、高知支店長様、ドコモ四国支社長様、テルウエル西日本四国支店長様や電友会本部長他沢山の方々から懇切なお祝詞を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、会報掲載記事につきましては、NTT関連記事としては事業動向や決算状況のほか各社様から依頼される会員への周知事項や電友会顧問の方々の紹介等をタイムリーに掲載し、各県支部の活動状況を紹介する「支部だより」は夫々の支部の活動にも活かされる貴重な情報となっていますし、会員皆様から頂く近況報告の「私は今」は、かつてお世話になった先輩や職場の同僚などの近況を知ることが出来て懐かしさや元気をもらったりして大変貴重な便りとなっています。

今後とも会員各位の活動状況をアピールする沢山の記事が寄せられ電友会活動の更なる発展に繋がっていくことを願っております。

最後になりますが、本号に対しましてご投稿を頂いた各位に感謝を申し上げます。健康には十分留意頂き、本号が300号・400号と未来永劫に継続することを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



四国電友会会員の皆様へ

NTT西日本四国支店長 立石 篤志



電友会会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度は、四国電友会会報が記念すべき創刊200号を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。本会報は、昭和46年に第1号が発行されて以来、実に半世紀以上にわたり会員同士を繋ぐ重要な役割を果たしてきました。これまで携わってこられた関係者の皆様のご尽力とご苦労に対して、深く敬意を表する次第です。

また、皆様におかれましては、日頃からNTTグループと地域社会、ステークホルダーを繋ぐ架け橋として、弊社の事業運営に対して、ご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

NTTグループを取り巻く環境は、社会活動や経済活動のリモート化、デジタル化の進展により、大きく、かつ急速に変化しつつあります。こういった中で私達は、これまで培ってきた知恵と技術にさらに磨きをかけ、新たな領域にも積極果敢にチャレンジしながら、今後も地域社会とともに成長を続けていきたいと考えています。

さて、四国支店では、2024年12月の完成をめざして「新事務棟」建築計画に着手しています。この新しい建物にふさわしい幸せで豊かな未来を創り上げるべく、引き続き社員一丸となって事業活動に邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

結びに、新型コロナウイルスの収束も不透明な状況ではありませんが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

NTT西日本香川支店長 徳永 久雄



「四国電友会会報創刊200号」、誠におめでとうございます。

また、日頃からNTT西日本の事業に対しご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

四国電友会会報の発行開始から約50年という長い歴史において、1985年の日本電信電話公社の民営化、1999年の西日本電信電話株式会社の設立と、会社は大きく変化してきましたが、そのよな中、四国電友会会報につきましては、創刊200号記念号の発行まで「継続」して「繋いで」こられたことに対し、改めてその大切さを感じております。

NTT西日本グループを取り巻く環境の変化は今後更に加速することが予想されるため、大きく変化する時代の中でも、お客さまや地域社会とともに成長し、次なるステージへ進んでいくため、20年間守り続けてきた『NTT西日本スピリッツ』を昨年に再定義し、NTT西日本グループの『パーパス(企業としての存在意義)』(「つながる」)の先に「ひらく」新しい世界のトビラを「を定めました。『つながる』は、私たちが以前から持っているDNAであり、変わらぬ使命です。情報通信を表す「つながる」だけではなく、さまざまな

人々の想いや願いを「つなぐ」、さらに未来にも「つなぐ」という想いを込めています。「ひろく」は、私たちが先頭に立って切り「ひろく」という想いを込めており、社員一人ひとりが、それぞれの立場・持ち場で、「つなぐ」を実践した先に「ひろく」の「新しい世界のトビラ」、あらゆる人々が幸せで豊かな未来、Well-beingが連鎖する未来の社会を表しています。

長い歴史の中で、諸先輩方が脈々と築き上げてきた「安心・安全・信頼」のブランド力と地域のお客様からの信頼を絶やすことなく、新たに定義したNTT西日本グループの『パーパス』のもと、地域に密着し、社会や産業のデジタル・トランスフォーメーション(DX)や地域の活性化などに取り組み、四国・香川が持続的に成長・発展していけるよう現役社員一同頑張っております。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、皆様との交流の場が復活することを期待するとともに、四国電友会の更なるご発展と、会員の皆さま、ご家族が健康で、心豊かな生活を送れますよう、お祈り申し上げます。



NTT西日本徳島支店長 加藤 拓

四国電友会会報第200号発行、おめでとうございます。第1号の発行が昭和46(1971)年5月とお聞きしましたので、51年もの永きにわたり、継続発行されてこられましたことに心からお喜び申し上げますとともに、発行に携わられた諸先輩方のご尽力に深く敬意を表します。

また、電友会の皆様には、日頃からNTTグループの事業運営に對して、深いご理解と幅広いご支援を頂き、厚く御礼を申し上げます。本年7月の「吉野川アドプトプログラム」にも多くの会員の皆様にご参加頂きました。徳島支店は、平成12(2000)年から同プログラムに参加しており、着任早々、地域社会の一員としての思いを熱くしました。

さて、NTT西日本グループでは、昨年12月に、新たな「存在意義(パーパス)」を定義致しました。

諸先輩方の伝統を引き継ぎ、長年にわたり、通信インフラを整備し、守り、お客様へ安全で安心な情報通信サービスを提供することで社会に貢献して参りました。コアとなる部分は、これからも磨き続けるとともに、地域社会やお客様の課題解決に貢献していくことを「パーパス」として、社員はもとより社会にも示し、取り組んで参ります。

「パーパス」の一例として、現在、徳島支店では、徳島大学様をはじめとする県内の大学、地域の経済団体、企業と連携し、「自分らしいライフキャリアを実現できる地域づくり」に取り組んでおります。

最後になりましたが、四国電友会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、「四国電友会会報」第200号発行記念のお祝いとさせていただきます。

(参考) NTT西日本グループのパーパス

「つなぐ」その先に「ひろく」あたらしい世界の「トビラ」を

私たちは、地域社会の一員として、あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求しつづけます。

そのために、技術と知恵をみがき、新たな価値の共創に挑戦します。



NTT西日本高知支店長 齋藤 幸生

2022年7月1日付で、NTT西日本高知支店長に着任しました齋藤幸生(さいとうゆきお)と申します。

1971年(昭和46年)の会報第1号から記念すべき第200号を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げますとともに、脈々と活動を繋いでこられた皆さまに敬服いたします。

自己紹介をさせていただきますと、私は埼玉県新座市で生まれ、2歳の時に母親の地元である愛媛県松山市に移り住みました。中学と高校は丸坊主でヘタツピながら野球に打ち込み、大学時代は高知でバ

イトに明け暮れていました。バブル時代の名残があった大学当時、高知の夜の街には人が溢れ返っていたことを覚えています。平成7年にNTTに入社、徳島で研修を終えた後、東京、大阪、高知、大阪、愛媛と転勤を重ね、主にビジネス営業に従事してきましたが、一時期広報を経験しています。高知は2度目の勤務、大学時代を数えると7年余りを土佐で過ごし、第2の故郷となっています。

2度目の高知勤務を迎え、最も気になっていることは、南海トラフ地震です。

長嶋茂雄さんがテレビのコマーシャルをされて話題になった某セキリティ会社で、20代から60代以上の男女に防災対策のアンケートを実施し、おもしろい結果が出ています。「防災対策をしているか」という問いに対し「はい」と答えたのは、60代以上の女性が最も多く、60代以上の男性が最も少ない、というものです。知識や経験が豊富な60代以上の男性が最も防災意識が高いと予想しましたが、見事にはずれました。残念ながら、60代以上の男性に防災対策をしていない人が多い理由は明記されておらず、ナゾのままです。

電友会の皆さん、このアンケート結果は本当でしょうか。是非、周りの方とお話をしていただき、ナゾの解明をお願いいたします。最後になりますが、「防災対策、していますか?」

※長嶋茂雄風に(笑)

NTTドコモ 執行役員 四国支社長 吉澤 啓介



四国電友会会報創刊200号を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

また、四国電友会会員の皆様方には、NTTグループの事業運営に関しまして日頃からご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

NTTドコモにおきましては、今年7月1日に一つの節目を迎えることができました。会社設立準備のためにNTT四国移动通信企画会社を1991年に設立、翌年5月に「NTT DoCoMo」を「ミニケーションブランド」と定め、同7月にNTT移动通信網株式会社が発足して以来、本年が30周年の年となります。

当地において電気通信事業の礎を築かれ、さらには地形的な課題が種々ある当地において血のにじむ努力を重ねられて移动通信ネットワーク構築及びサービスの展開にご尽力された電友会の皆様には私どもの先達として感謝の念に堪えません。

スマートフォン・ケータイがお客様にとって「最も身近な社会インフラ・ツール」となっている昨今では、5Gサービスのさらなる拡大に励みつつ、24時間365日つなぎ続ける通信事業者としての使命感をもって、関係の皆様のご指導ご支援を仰ぎながら事業運営にあたっております。お客様、代理店様、お取引先様を含む関係の皆様にあらためて感謝申し上げます。

最近のトピックスについてご案内いたします。

NTTドコモでは、NTTコミュニケーションズとNTTコムウェアの皆さんを本年1月グループに迎え入れ、新ドコモグループとして新たなスタートを切りました。法人事業を中心とする成長領

域のさらなる成長をめざす事業運営体制のもと5Gはもとより、IoTやAI等の最新の技術を核として「モバイル・クラウドファースト」に則って当地におけるデジタル化、DX推進、デジタルサービスの解消に努めてまいります。

そうした中で、私どもNTTドコモ四国グループにおいては「四国の皆さん」のより良い暮らしを将来にわたって実現』という事業運営方針のもと、お客様、代理店様、パートナー企業様など、我々の商売に関わるすべての方々のより良い暮らしの実現をめざして長期的な視野ももちつつ取り組んでまいります。

さらに、本年3月には「ドコモでんき」の提供を開始し、CO2排出量実質ゼロで地球にやさしいサービスメニューを揃えるなど、当地四国の美しい自然環境保全に将来にわたって貢献できるよう、幅広い分野で皆様の「より良い暮らし」実現を下支えできますと幸甚です。

四国電友会会員の皆様におかれましては、引き続きのご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、長期化するコロナ禍や地政学的リスク顕在化に伴う経済への影響等、先行き不透明な環境において、四国電友会の皆様お一人お一人の更なるご発展・ご健勝を心よりお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



テルウエル西日本四国支店長 吉川 和志

電友会会員の皆様方には、日頃から弊社の事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、四国電友会会報の発行が200号の記念号となりますこと、心からお祝い申し上げます。創刊から50年余り、この間の関係者の皆様の大変なご苦労に対し、心から敬意を表したいと思っております。

会報で皆様方がお元気で活躍されている様子を目にするにつけ、「我々に負けずにもっと頑張れ」と応援頂いているように感じます。

さて、テルウエル四国支店の現状などについて、少しお話をさせていただきます。私はこの六月に四国支店長に着任しました。NTT西日本では主に企画、財務を中心に、また、前職ではテルウエル本社のアウトソーシング事業に従事しておりました。四国支店の事業は、NTT西日本の効率化に伴い、ビル清掃や警備業務を中心に業務量が縮小しつつあり、経年的にNTT受託事業は縮退傾向にあります。これに伴う減収を補い、更には売上の拡大基調への転換を図るため、現在、行政や民間企業からの業務受託を始め、不動産関連業務やオフィスソリューション業務へ軸足をシフトしながら新しい分野へ果敢にチャレンジしているところです。

今後とも、弊社の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

元電友会四国地方本部長 六車 美一

電友会のことではお世話になっております。

私は今年で102才になり、今は広島県に住んでいます。

一日24時間の生活態様は、椅子に掛けて机を前に新聞・雑誌・テレビの類と付き合う時間が5時間、ずっと起きているとたちまち腰や尻が疲れ痛くなるので、体を横にして休める時間が5時間、起きるでもなく横になるのもなくて（立臥交互）いる時間が5時間、ベッドで大の字で寝る時間（就寝）が9時間の日々を過ごしています。

外出は少しずつ困難になっており、外に出るといえば市内の病院・医院へ娘に助けられて車で往復するのがやっとの状態です。

列車・バス・自家用車を使って遠方へ出かけることは思いも及びませんが、ただ松山へ行きたい気持ちは溢れるほどあるのに体が到底許しません。

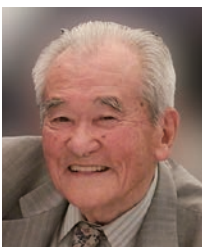
一日一日と気力が衰えてゆくの自分でも分かりますのも年相応の現象でしょう。

みなさま、いつまでも電友会をよろしくお願いいたします。

元電友会四国地方本部長 西本寿恵一

「四国電友会会報」第200号発刊、おめでとうございます。

昭和46年の創刊以来、51年の年月を経て200号まで重ねて来られたのはこれまでの編



集や発行に携われた多くの方々の情熱や苦心の賜物と改めて敬意を表します。

私が平成8年に電友会四国地方本部長を現在は広島県にお住まいの六車美一様から引継ぎ、平成13年迄務めた5年間の中で平成9年10月に記念号として100号を発行したことをごく最近のことのように思い出します。

会報は会員の心を結ぶ絆として会の発展のために多大な役割を果たしていると思います。

特に近況報告としての「私は今」は、かつて同じ職場で仕事に従事した同僚や後輩など普段ではなかなか知ることができない方々の近況を知ることができ、懐かしさがこみ上げたり元気をもらったり、とても素晴らしい便りとなっています。

また、NTTやNTTグループに関する決算状況や事業活動の記事はNTT・OBとして大変関心をひくものであって、特に平成28年に念願であった四国における初めての黒字化達成記事は大変喜ばしく胸が熱くなったことを思い出しました。

今後とも会報がNTT並びにNTTグループの動きや電友会の活動状況や会員の消息等をタイムリーに捉え、会員にとって心の糧としての役割を果たすことができることを願うばかりです。

最後に会員数が減少傾向になっているのを総会資料で拝見し、その減少事由も多々あるうかと思いますが、本会の目的にもあるように会員相互の親睦交流を密に会員の生活安定と福祉の増進にも寄与できるように継続した活動が出来ること、及びここ3年間コロナ感染症状況から開催できていない総会・懇親会をコロナが終息し開催できることを祈念するとともに、四国地方本部長を平成13年から5年間務め令和3年にご逝去された芳野運さんと、平成18年から8年間

務め平成30年にご逝去された栗田和夫さんのご冥福をお祈りし、現本部長の小田尚見さんに今後の四国電友会の更なる発展を託し、200号記念発行にあたってのご挨拶と致します。

NTT労働組合四国総支部 執行委員長 **吉成 康晃**



四国電友会会員のみなさま、こんにちは。

日頃はNTT労組四国総支部の皆様な取り組みに対し、小田本部長様、柳原事務局長様をはじめ四国地方本部のみなさまにご理解・ご協力賜り、ありがとうございます。

「会報200号記念誌」の発行おめでとございます。昭和46年からの長きにわたる取り組みに改めて敬意を表します。

さて、私たちNTT労組四国総支部は今年7月、結成20周年の節目を迎えました。

旧全電通時代から「共存共生の精神のもとに、心とこころをつなぎ、次代につながる公正な社会づくりをめざす」を基本理念に、日々諸先輩方に教えを請いつつ、活動に邁進してきました。

コロナ禍も含め混沌とする世の中。

これからも、NTTグループに集う組合員・社員の幸せと確かな未来に向け「過去に学び、今を見つめ、未来を創る」を胸に刻み、一層精進します。

終わりに、引き続きの連帯・連携をお願いしお祝いの言葉とします。

この度は、誠におめでとございます。

四国電友会会報200号お祝い挨拶

電友会本部 会長 高部 豊彦



四国電友会の会報200号発行を心からお慶び申し上げます。

昭和46年の第1号の発行から、足掛け50年に亘り、その間連綿と会報誌の発行を受け継いでこられた関係者の皆様のご尽力に深く敬意を表する次第です。

四国電友会では、すでに昨年10月には「四国電友会50年の歩み」を発行され、電友会会員の皆様の長い活動の歴史が綴られておりますが、ホームページ上でも、創刊号を除く第2号以降のすべての会報誌が会員の皆さんに公開されており、四国電友会の歴史を作られてきた先輩方への畏敬の念と会員交流にかける並々ならぬ強い思いが伝わってくるものです。この他、会報誌を支部役員の方が「声かけ」をしながら手渡しをされているとも伺っており、支部の皆さんの労を惜しまない地道な取組みにも敬意を表し、厚く御礼申し上げます。電友会では、NTTグループの全国のOB・OG6万7千名の方が会員として活動されております。昨今のコロナ禍においては、サークル活動や集合形式でのイベントの開催も儘ならぬ状態が続いておりますが、このような時こそ会報誌やホームページ等を通しての交流が貴重なものとなります。四国電友会におかれましては、人生100年時代に向けて、今後とも会報誌等を通しての交流がさらに発展継続され、会員の皆様のますますの懇親とシニアライフの充実につながることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

四国電友会会報200号に寄せて

愛媛電友会 会長 小田 尚見



四国電友会会報200号発行、おめでとございます。

愛媛電友会は昭和37年10月23日の電信電話記念日に結成され、翌年の昭和38年5月に愛媛電友会会報が創刊されました。

その愛媛電友会会報の第13号（昭和46年発行）を最後に四国電友会会報の第2号として引き継がれ今日に至っていると聞き及んでい

ます。この度、記念すべき200号を発行するに至ったことは、本誌に関与されてきた数多くの諸先輩の大変なご尽力によるものと厚く感謝申し上げますとともに、ご支援を頂いたNTT及びNTTグループ各社様に厚く御礼申し上げます。

さて、本200号発行に至るまでの愛媛電友会としての特徴的な活動をご紹介させていただきます。

一つ目は平成17年から日頃の文化活動にご精進されている方々の発表の機会として始めた「趣味の作品展」です。

この作品展は今年で第9回目を迎えることとなりますが、平成23年の第4回作品展は愛媛電友会発足50年記念行事の一環として開催することにしたところ、他の3県も同じく発足50周年となることから愛媛電友会と同様に趣味の作品展を記念行事として開催する運びとなり、それ以降各県も定期的な開催となっております。

二つ目は、平成18年より東予・南予エリアの会員を対象に会員相

互の親睦と交流を目的に、N.T.T.の事業動向や電友会の活動状況の情報共有を図る場として県内6カ所（今治、壬生川、新居浜、西条、八幡浜、宇和島）で開催している「地域交流会」です。

この交流会には、N.T.T.から支店幹部の方々と開催エリアの営業支店長の参加を頂き大変好評を博しています。

このような活動により本会報が会員各位にとって親しまれ喜ばれる記事を提供しながら更に発展されることを祈念するところです。

最後になりますが、感染拡大になっているコロナウイルスの感染防止に努め、会員の皆様とその家族の方々が以前のようにマスク無しで生活が出来るような日々となり、ここ3年間開催出来ていない総会・懇親会が開催出来ることと本会報が300号・400号と継続していくことを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

香川電友会 会長 大西 宏



会報創刊200号に関し、これまでの運営環境変化や各種課題を乗り越え、刊行継続してこられた先輩会員各位の熱意と努力に心から敬意を表します。また一会員としてこれからの更なる刊行継続に少しでも役立てればと考えています。

少し前の話になりますが、ある日家内が「セラピー犬派遣事業に関するクラウドファンディング募集」のニュースを見つけてきました。高齢者介護や、メンタル介護にセラピー犬を派遣し、癒し効

果を活用する事業が、昨今の事情から運営支援を求めており、犬好きの家内が協力したいと言うので賛成しました。支援はわずかな金額でしたが、返礼？にセラピー犬に会わせて貰え、家内共々に予想以上に楽しい癒しのひと時を経験することができました。

退職して10年過ぎて、今や家内と二人きりの生活となりました。コロナ拡大、ウクライナ問題、不景気加速など、自分たちの先行きにも漠然とした不安の種は尽きませんが、電友会会員として大きな絆の中にあることで、普段はあまり実感しないが心の癒しの効果を与えられていると改めて思いました。

徳島電友会 会長 三馬 定芳



記念すべき四国電友会会報200号発刊の節目の年を迎えられた事に改めて積み重ねられた歴史の重さを感じます。

昭和46年（1971）5月発刊の第1号創刊号は残念ながら本部でも確認出来ないようですが、第2号から50号・第100号（第5号〜第78号は四国連合会会報）・第150号・・・と改めて振り返る機会を得て、時折々の記事には電電公社からN.T.T.への民営化、更には分離・分割への変遷の歴史や諸先輩の思いが綴られた記事に触れ、当時の在り様や時代を共にした方々の名前を目にし、感慨深いものがありました。

私が令和2年の7月に前会長から引き継いだ時は既に世界的にコロナウイルスが拡大しており、ここ2年余りの期間はコロナウイ

ルスの影響で総会をはじめ殆どの行事が中止を余儀なくされ、会員の皆様とのコミュニケーションはホームページやブログ及び全会員の皆様に四半期ごとにお届けする会報が、情報を共有する大切なツールであった、と改めて感じます。

第1号発刊から51年200号の永きに渡り其々の時代と共に寄せられた投稿や編集に携わられた皆様に改めて感謝申し上げますと共に、電電公社・NTTグループに在籍した一員として、ご挨拶させて頂きます事を光栄に思います。

今回の第200号を節目として、積み重ねた伝統と歴史を大切に、会員の皆様と共に今後も未来へと続く事を願うばかりです。

高知電友会 会長 井上 淳介



50年間四半期毎に休みなく続けられた偉業達成。おめでとございます。電電公社、NTT、分社化、再編成と企業として激しく変遷していく中で、常にOB・OGの目線での情報と、会員交流の「温もり」を届けて頂き感謝しております。

第一号が発行された昭和46年を思い起こしました。今年後期高齢者に突入する自分がまだ25才、当時の四国通信局で今は無き長距離同軸ケーブルの設計、毎日MH調査で泥だらけでした。あの頃から始まったのかと感慨無量です。自分の事はともかく固定電話の自動即時化、大量架設でいけいけどんどの時代だった気がします。

それからの長い50年、NTT発足の昭和60年の記事、西日本会社への分社化と窓口閉鎖のあった平成11年の記事等もどんなだったか、時代の節々の紙面にも興味をそそられています。

これからの時代、企業形態や、事業領域は今まで以上の激しい変革が続くでしょう。かつてこの企業に籍を置いた我々OB・OGにとつて時代を懐かしむ、また行く先を見守る「小さな窓」として、この四国会報がいつまでも続くよう願っております。

NTT労組退職者の会 愛媛県支部協議会

会長 尾崎 公



四国電友会の会報200号達成おめでとうございます。年4回のペースで計算しても半世紀という気の遠くなるような永い努力の積み重ねです。

歴代の会長はじめ事務局長などスタッフの皆さんと、支えて来られた会員・読者の皆さんに心からの敬意と感謝を申しあげます。世はまさにデジタル全盛の時代です。しかし、人と人のふれあい、心と心をつなぐのはまだまだアナログです。会報のページをめくりながら、お世話になった方のお名前をみつければ、あたたかい気持ちに浸っております。

電友会がいつまでもNTT・OBの心よりどころでありますように。そして会員の皆様のご健勝、会報の末長い継続をお祈りしお祝いの言葉いたします。

NTT労組退職者の会 香川県支部協議会

会長 下河 進



四国電友会会報創刊200号達成、誠におめでとうございます。

200号と言いますが、創刊から50年の歳月を休むことなく発行を続けられた歴代の役員や編集委員・スタッフの皆さんのたゆまないご努力に心から敬意を表します。

私たち退職者の組織は、現役と違って職場が無く、地域に一人ひとりが点在し、日常的に話し合う場や交流する場が限られています。

それだけに「会報」は会員間の心と心をつなぐ架け橋として大変重要な役割を果たしていると思います。

電友会と同様にNTT労組退職者の会も会員の減少と高齢化が進行しており、香川では2年先には80才超えが会員の50%に達することが想定され、参加型の行事の計画も困難性が予想されます。それだけに「会報」を通じた近況や交流の重要性不可欠です。

200号から300号に向けてのスタートにお喜びのご挨拶とします。

NTT労組退職者の会 徳島県支部協議会

会長 坂本 忠



この度、電友会の会報200号記念誌発行を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

創刊以来、電電公社からNTT民営化と先輩方々から築き上げてきた歴史や企業理念を振り返るとともに、会員皆様に有益な情報発信を長期間継続する難しさの中で、会報誌の継続・発展に取り組みられていますことに敬意を表する次第であります。

ここ3年間は、新型コロナウイルス対策で会員との対話型集會等の活動を中止している状況の中、昨今の高度情報化時代の多機能型携帯電話から世界中のニュースや話題が身近な情報として見ることが出来ますが、会報誌には、紙面を手に取り時間をかけてユックリと目を通す情報の温かさには及ぶことが出来ません。

また、高度な情報通信ネットワーク技術では、電話の音声の聴覚、テレビのように聴覚と視覚という限定的な感覚情報になっている生活状況です。

当協議会会報誌「阿波だより」は、電友会会報より歴史が浅く、編集技術的にも未熟ですが、人間の五感の視覚・聴覚だけでなく、触覚・嗅覚・味覚の情報を取り込んだ内容にしていきたいと思っております。

電友会の会報誌が会員皆様に愛され、ますます発展されますことをお祈り申し上げます。

NTT労組退職者の会 高知県支部協議会

会長 弘田 和幸



電友会四国の会報が200号を迎えるという。

確かな偉業であり、心からおめでとつを申し上げます。

組織というものは一種の生き物で構成員をつなぐ『核』がシッカリしてこそ精彩を放ちます。電友会におかれましてはその『核』が会報であったかと想定します。多くの仲間皆さんの「声」が紙面に踊っていますので思わず手に取り懐かしさに浸ることができます。「継続は力」と申しますが2500〜3000号に向けて一層の精進を祈念いたします。

さて、ここ数年コロナが猖獗を極め、退職者にとって何ともやりきれない日々ですが、コロナ前の状況に戻れることを期待し健康維持に努めコロナ禍なりの趣味の一つでも増やすのもいいかも…と思います。

いずれにしろ、人生「山あり谷あり」は当たり前的事と悟ったふりをしてでもやり過ごす他、無いのかも…。しかし本音は、わいわいがやがや皆と酒を呑みたいものだ。以上、狭量な己故、愚痴っつかし。

四国電友会会報と私

元電友会四国地方本部事務局長 木田 誠剛

○四国電友会事務局長として

私が四国電友会事務局長に就任したのは、テルウエル四国支店を退社し関連会社のビューテック四国(株)で働いていた62才の時でした。

ビューテックの仕事も軌道に乗ったところでもあり、1年余りで辞めることに相当悩みましたが、任せられる後輩も育っていたし、半年以上に渡って声をかけ続けて頂いた、当時の栗田会長に対する恩義もあり四国電友会事務局長を引き受けました。電友会の仕事もよく分からないまま、栗田会長に頼まれたから仕方なく、というのが正直な気持ちでした。

すぐに取り掛かった仕事は、四国電友会会報10月号と会員名簿の発行(10月)でした。これはテルウエルの時の職域幹事、会計監事として外から見えていたのとはかなり違うぞ！と気合を入れ直した次第です。

そして、会報も会員名簿も何とか発行できて一段落したところ、3月に発生した東日本大震災の現地視察が、全国事務局長会議として宮城の松島でありました。現地の被災状況をつぶさに見ることで、電友会として大災害の時の連絡体制をどうしたらいいのか、大変勉強になりました。

それから10年余り四国電友会運営の仕事に携わることが出来たことは、私の電電公社、NTT、NTT関連会社と渡ってきたサラリーマン生活の終着駅として誇りに思っています。

○四国電友会会報作成に携わって

平成23年10月号から令和3年4月号まで発行してきた中で、今も印象深いのは、まずは印刷会社に無理を言ったことです。いろいろお願いしたのですが、一番は会員の皆さんの「私は今」の原稿のデータ化です。以前は電友会でPC処理していたのですが、かなり時間がかかるので印刷会社にお願したところ、気持ちよく引き受けていただき本当に助かりました。

次に取り組んだのは、会員の皆さんが手に取って楽しめる会報作りでした。それで平成24年4月号から次の見直しを実施しました。

① 表紙のカラー化

それまでは1月号のみカラーでしたが、せめて表紙くらいはカラーにしたいと。

② 文字の変更

文字を丸文字で大きくし、読みやすくしました。

③ 「私は今」の近況報告記事に写真掲載

写真を添付することで、近況がよく分かるのと紙面が華やかになるように。

④ 長寿番付を掲載

会員のみなさんがいつまでもお元気であることを祈って。

○サークルの立ち上げ

四国電友会会報とは直接関係ありませんが、事務局長の時に二つのサークルを立ち上げたのを紹介しておきます。

① ヨガサークル

会員の健康維持と会員確保を目的に「ヨガサークル」を平成25年4月に立ち上げました。モットーは「身も心もしなやかに」です。

毎週1回付属棟の大会議室を借りてスタートしました。現役社員とのコミュニケーションを図るのも目的でしたので、電友会会員8名、NTT社員8名のスタートでした。今は、若草ビルの付属棟で実施していますが、コロナ禍でいつ再開されるやら・・・

② 男の料理教室

「男子厨房に入るべし」を合言葉に平成28年6月にスタートしました。

男の料理教室は、イベント的な開催ではなく定期的な実施(1年目は月2回、現在は月1回)であり、電友会本部の会報でもQOL(クオリティー・オブ・ライフ)の推奨事例として取り上げられています。

季節の移ろいに心をときめかせ、旬の食材を手に入れ、包丁を握ることでポケ防止になり、かみさんも喜ぶ。と良いことづくめサークルも、コロナ禍で会場が借りられず、残念ながら休止中です。一日も早い再開を望んでいます。

このサークルを四国電友会会報で紹介したところ入会希望者があり、会員のみなさんは会報を読まれているのだな、と心強く感じたいのを覚えています。

いままでのメニューを紹介

いつも仲良く「旬の料理」を作っています。



H29.5.26
焼肉チキン・新ジャガと
新玉ねぎサラダ・小松菜
とがんもの含め煮



H29.4.27
筍ごはん・筍の煮つけ
若竹味噌汁



H29.2.3
恵方巻・鰯の酢煮
・ほうれん草と人参の胡
麻酢風味・蓮根きんぴら



H29.5.19
えんどう豆ご飯・鯔の南
蛮漬け・生わかめとしら
すのお吸い物



前電友会四国地方本部 事務局長 渡辺 隆司

四国電友会報200号おめでと〜ございます。
私が電電公社に採用された時の会報25号(S54年1月)を見ると、
当時の四国電気通信局長、電友会四国連合会長の年頭あいさつに始
まり、未年生まれの方の皆さんからの寄稿、随筆、サークル活動
の状況、俳句、短歌など、現会報のベースが既に出来あがっている
ことに歴史を感じました。

四国の事務局長時代、会報づくりには200分の3しか携わること
ができませんでした。会報以外で「四国電友会50年の歩み」の
作成に携わることができました。記事の構成、資料・写真・原稿集
めはもちろん、印刷会社の方にも「締め切り、ちょっと待って」な
どご迷惑をおかけし、予定より少し遅れましたが出来あがった時に
は感慨深いものがありました。作成にあたり、小田会長、柳原事務
局長、各県会長・事務局長をはじめとする関係の皆さん、原稿を送っ
ていただいた会員の皆さん、印刷会社の南海プリントさん、皆さん
方のお力添えには今でも感謝しております。

さて、今回は200号記念号への投稿なので「200」にちなん
だ話をともしったのですが、全く何も浮かばないのでこの夏のこと
を書きます。

私は会報62号(S63・4)から81号(H5・1)の5年間、長野
の年金・医療保険センタ事務センタで勤務しました。

準備室と共済組合員の資格に関する業務で3年間、年金の給付業
務で2年間仕事をしました。

赴任前、長野県人は「理屈っぽい」「堅物」「閉鎖的」だと聞いて
いて若干の不安もありましたが、住んで仕事をしてみれば職場の皆

さんもご近所さんも皆親切で明るい気さくな方々ばかりで心配は無用でした。お陰で四季の移り変わりのはっきりとした美しい風景の中で、忙しいけれども公私ともメリハリのある充実した5年間を送ることができました。

そんな思い出深い長野をこの夏、妻と息子家族と約30年振りに訪れました。小学生の孫2人がまだ一緒に来てくれる間にと思い春先から計画してコロナ渦巻く中、行ってきました。30年前は約750kmを私が運転して帰郷していたのですが、今回は息子夫婦が全て運転してくれて楽でした。

長野に到着しお決まりの善光寺参りの前に昔住んでいた社宅、職場に行ってみました。

社宅はコンビニに職場はNTTグループ会社の経営する駐車場になっていました。社宅跡も職場跡も周りの建物はそんなには変わってはいなかったため、何か余計に寂しさを感じました。

その後、善光寺や子供たちがよく遊んだ茶臼山恐竜公園、川中島古戦場等々を巡り、これも昔両親が来た時に一緒に行った戸隠神社奥社にお参りに行きました。奥社への道は平坦で歩きやすい記憶があったのですが、歩き始めると砂利道、石段で2km程の上り坂を40分ほど歩きやっと奥社にたどり着きました。後で確認したら、両親と行ったのは戸隠神社五社のうち一番手前にある神社だったみたいです。30年近くも経ったら本当に記憶が曖昧です。普段歩くことも少ないので足がパンパンに張りましたが、参道を挟んで500m続く樹齢400年の杉並木の美しさ、涼しい空気の気持ちよさ、戸隠蕎麦の美味しさは値打ちものです。

実質2日半程の長野旅行でしたが、1998年にオリンピックが開催され街並みも変わっている中、山々の景色はそのまま30年前

の楽しく過ごした日々が甦りました。

しかし、今回の旅行を家族が楽しみ喜んでくれたのが一番でした。最後に会報200号、プロ野球で言えば長い歴史の中でも24人しかいない200勝投手、名球会入りです。この先も金田投手の400勝(400号)を超して続くことを祈念するとともに、この200号記念誌の発行にご尽力された皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



私は今

今月号は、200号記念として、これまで電友会の事業活動に従事された方々を中心に、近況報告を頂きました。

◇ 青木 敬三 (高知市 H26年退)

最近メダカ飼育がブームになっているようですが、我が家も幾つかのコンテナでメダカを飼育しています。

ある日、庭の飼育コンテナを見てみるとメダカの姿がありません。メダカの死骸も見当たらないので不思議に思い、他のコンテナも



見てみると、数匹いたはずのコンテナも1匹しかいなかったり数が大幅に減っています。次々とコンテナを見て回っていると、原因がわかりました。何と中で大きなカエルが動き回っていました。

◇ 秋田 清 (美波町 H20年退)

退職して14年目を迎えました。7月には後期高齢者になり健康保険証が変わりました。あまり自覚がありません。(後期高齢者の)南部OB会の幹事もさせて頂いておりますが、コロナ禍で3年目を迎えて行事がすべて中止になり、会員の皆さんと顔を会わせることも出来ず寂しい限りです。一日も早くコロナが終息し、以前の様な生活が出来る日を楽しみにしています。

私は一病息災で毎日を平凡に過ごしています。



《かわいいお孫さんと散歩中》

◇ 朝倉 直次 (高松市 H15年退)

平成15年にNTTを退職。その後、香川電友会事務局でお世話になりました。

3年前に妻を亡くし、年離れた両親(父99才、母95才)との三人暮らしとなりました。

息子達は嫁の引力が強いのか、殆ど寄り付かず、従って孫ともめったに会わずにいます。

現在は、両親を病院への送迎と、その合間で食料品の調達、そして農作業に従事する日々です。

◇ 安養寺 宏子 (高知市 H16年退)

四国電友会会報誌200号おめでとございます。

コロナ終息もまだまだのようですが、頑張って一日一日を大切に過ごしましょう。

私は数年前から体力、筋力が弱って、ある病名をもらいました。大好きなソフトテニスの練習も何もしていません。せめて観戦だけでもトリハビリや日常生活に頑張り、遂に5月末に大きな大会を観戦できることになりました。久しぶりの仲間達とのおしゃべり等に涙々で迎えてくださり大変感謝感謝の一日でした。

次回はいつになるか分かりませんが、行ける日を目標に日々過ごしたいと思います。



《サイコ・サマー・パーティー2015》

◇ 碓 伸之 (高知市 H10年退)

今は、ゆったりとした時が流れる日々。好きな音楽もやめた今、取り立ててやるべきこともなく、友との朝のコーヒー、気休なウォーキング、愛犬の散歩等で、概ね一日が終わる。いつしか庭の片隅に追いやられた喫煙席、ここでの一服が至福の時。眼前に拡がる小風景、四季折々の表情が垣間見られる。春は満

開の桜、夏は一面の緑と蝉しぐれ、秋は控えめの紅葉、冬は落葉した寂しげな木立、自然の佇まいが目映る今、まさに老境の域。日々是好日なり。

◇ 磯崎 善博 (鳴門市 H23年退)

私はN.T.Tを退社して12年が経ちますが、現在は株式会社光ネットの仕事が続けています。衰える体力と健康を維持するため、ルームランナーを購入しましたが、暑さを言い訳に長続きしていません。

妻からは「コロナが収まったら旅行にも行きたいし、健康年齢を考えると元氣いられる時間はあと数年しかないよ」と言われるこの頃です。

リタイアするためには後継者の育成が急務ですが、小規模な会社なので優秀な人材の確保も難しいため、研修計画を立てて試行錯誤しながら人材育成に取り組んでいます。

このため、妻には「もう少し時間が欲しい」と理解を求め、二人が元氣でいられることを願っている毎日です。

◇ 糸川 好一 (高知市 H4年退)

退職後「愛媛電友会」に入会、高知に帰り「高知電友会」に転入しました。会主催の旅行・

ボランティア活動等に参加、特に幹事会の後の一杯で親交を深めました。また高知電友会創立50周年記念行事の「趣味の作品展」は、大盛況で会員の皆様の多芸・多趣味実力の高さに敬服しました。

私(今ひとり)は、今終活「遺言状・会場・逝く所」をもうほぼ確定しています。後は逝く時と方法です。

今コロナで動けない外飲みを自粛し晩酌と、たまのゴルフとスポーツジムで過ごしています。

◇ 稲井 和代 (上板町 H14年退)

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

今年の暑さは格別で、そのうえ新型コロナウイルスウィルス感染症が全国的に猛威をふるい、徳島県においても感染者数が一日二千人を超える日が続いております。

外出する機会も少なくなり、永年続けている茶道・華道のお稽古も休むことが多くなりました。大阪へ毎月1・2回お花のお稽古に通っていたのも休まざるを得ません。

このような状況の中においても以前同様に毎週花屋さんからお稽古花を配達して頂き、孫だけが教えております。

孫のお手前で一服。なかなか上達しないお

花の手直しをし、ささやかに心豊かなスローライフを楽しんでおります。
 早く新型コロナウイルス感染症が終息し、元の生活スタイルに戻ることを祈っております。



《初生けの様子》

◆ 稲毛 文夫（松山市 H5年退）

一人暮らしも3年目に入りました。やむを得ず自己流の自粛生活という日々です。

昨年の四国電友会50年記念誌の会員のメッセージで紹介した、高校の同級生とのオンラインクラス会は、通算40回を超えて継続中です。

一方、そろそろコロナ前のように集まって生（なま）の顔や声に接したいとの要望もあり、「今年11月に京都で、オンラインに参加していない者も含めたクラス会を開催」となりました。（コロナ騒ぎが静まる前提で）

◆ 井上 正廣（高松市 H14年退）

50年前には「三公社五現業」なんて言葉が存在していました。それからの電電公社の遷は当時では全く想像できませんでした。

世の中も大分変わってはいるのだろうが、自分の変化はあまり感じません。20年目に退職してからもどこかの職場に転勤した感じで、ずっと当時の会社組織に属しているような気がしています。

今はあるかどうか分からない「終身雇用」という言葉をNTT、電友会によって実感しています。

◆ 岩崎 正朔（丸亀市 H11年退）

地域の仲間と共に、手作りの森林公園を造っています。

キツカケは無謀な開発によって樹齢100年以上のエノキ35本が切断された事から、樹木にも生命があるのにと開発関係者に緑の大切さを訴えつつ、周辺の竹林が荒れ果ててお

り地権者の許可を得て約5000㎡の竹林と雑木を伐採し整地を行い、すでにクスノキ、ケヤキ、エノキ等の高木50本、桜、梅、サザンカ、更にツツジ類100本を植樹。
 今年の11月から来年の4月にかけて、苗木100本



《地域の仲間と公園建設に向けて奮闘中》





の植樹と休息所となる「あづまや」を建設する予定です。場所は丸亀市南部、フジグラン丸亀店の東隣りで、オープンは2年後を目指しています。仲間男女30人、自主防災活動日本一を目指したメンバーです。

なお私事ですが、本年度春の叙勲において地方自治功勞として旭日単行光章を拝受しました。

◇ 岩田 真一 (松山市 H25年退)



今年66才になる年、3月末をもってNTTを退職し、4月から愛媛電友会でお世話になっていきます。

振り返れば共通系の職場をほぼ3年毎変わしながらのサラリーマン人生の中、再就職先となった最後のタウンページ社で営業マンとして従事した8年間で一番伸び伸びとやらせて頂き、そして見える成果を出せたことは自分のキャリアとして皮肉な結果となりましたが、人生の良き節目となったのではないかと思っております。

休む間もなき感で4月から電友会事務所に毎日出勤している中、新鮮な驚きとしてOB・OGの方々の友人はだしの多芸・多趣味を目的の当たりにし、また年齢を感じさせない元気な活動をみるにつけ、まだまだ小僧っ子だと再認識させられております。

当面70才の節目まではと頑張る所存です

が、病魔の兆し(糖尿・高血圧等)も気になる身、お酒もそこそこしつつ、楽しくやっていきたいと思っております。

◇ 岩村 邦子 (新居浜市 H14年退)

電友会報200号おめでとうございます。今年もコロナの猛威、元首相の銃撃事件等々悲劇が世の中を襲いましたが、皆様ご無事でお過ごしでしょうか？

アナログな時代からマルチな時代への過渡期にパソコンを習いアタフタ仕事をした私は、退職後も4台目になるPCを友達に、毎日クリックして遊んでいます。急速に進む情報社会についていけていませんが、お陰様で退屈しません。NTTに感謝です。大変便利な友達ですが、絶対妥協してくれないのが、少々難点ですかね。ありがとう。

◇ 上枝 文敬 (高松市 H11年退)



会報200号記念誌おめでとうございませう。

香川電友会に籍を置き24年、組織・人とのつながりを

礎に、心身の健康を道連れに歩み続けること

◇ 小川 渡 (高知市 R2年退)

NTTを退職して3年目に入りました。今は、親の介護のため、自治会活動は、しばらくお休みしています。

新型コロナや異常気象、ウクライナ侵攻による物価高など課題山積ですが、健康に留意して、世の中の出来事を注視しながら、これからも地域や社会と繋がりを持って生きていこうと考えています。

「おもしろきことなき世を面白く、生きていくのが男子の本懐」と思う今日この頃です。

◇ 小野 純一 (多度津町 H18年退)

先日、北口香川支店長よりNTT支店長表彰の「感謝状」を頂き有難うございました。

70才を過ぎた頃、食道癌を宣告され手術し、3年後には咽頭癌で放射線治療を行いました。

癌と対峙しながらの日々の健康法は、「桃陵公園の約1時間(5km/日)散歩」と盆栽・写真等を楽しむことです。コロナ禍で外出が激減しましたが、近隣の牡丹寺に出掛けた時、花手水が綺麗に生けられていました。

また、私は常に人へのリス・ペクトを重んじ、ポジティブに考えて行動することを心掛けています。今年の誕生日には喜寿を迎え、妻や

子供達から祝って貰い感謝しています。

今は2025年に開催される「大阪万博」に向けて、元気で自分の足で行けるよう体調管理に心掛けていこうと思っています。



《牡丹寺の花手水》

◇ 形上 哲也 (松山市 H20年退)

会報誌200号の発行おめでとつございます。1971(S46)年の第1号発行以来、51年にわたり発行にご尽力された皆様方に敬意を表したいと思います。

また、最近では毎号50件前後にも上る投稿

があり、特に「私は今」において知人などが出ますと懐かしく当時のことを思い出したりします。こんな感覚を味あわせて頂けるのも、ひとえにご担当の方の努力の賜物と感謝しております。

私は今、旅行業を始め5年目。ネバーギブアップで頑張っています。



《自社(亀さん旅行社)前》

◇ 鹿庭 博純 (さぬき市 H24年退)

200号発行おめでとつございます。NTTを卒業し10年が経ち、現在は日本メックスで第二の職場としています。



《左端が私です》

主に建物の電気・消防・衛生・空調設備の維持管理に携わっています。NTT時代通信電源以外に、各専門職の技術を現場で見て、建物設備のシステムを興味深く勉強しています。このスキルは日曜大工にも役立つと思います。

もつすぐ70才を迎えようとしています、何とか体力が続く限り、頑張りたいものです。

◇ 鎌野 愛子 (高松市 H12年退)

会報200号記念誌発刊おめでとうござい
ます。

令和3年度より香川電友会幹事を努めさせて頂いておりましたが、コロナ禍にて会合等参加できておりませんが、一所懸命に協力いたしたいと存じております。

私ごと、退職後は地域ボランティア活動に参加し、現在は老人クラブ活動にて太田音頭の演芸発表会に踊ったり、認知症予防にと主人と共に昨年より民謡教室にて唄ったり、大ホールでの発表もいたしました。

春から友人と花を求めて東に西へと蝶の如く駆け巡っています。

◇ 鎌橋 美恵子 (高松市 H16年退)

会報200号発行おめでとうございます。

私は98才の義母、息子夫婦と猫1匹、犬2匹で暮らしています。

義母は「要介護2」の認定を受けています。週3回のデイサービスには通っていますが、自宅では入浴のお世話をする程度で、いつも笑顔で「ありがとね」と労いの言葉をかけてくれます。今後の義母の目標は、ひ孫の結婚式に出席する事です。

いつも前向きに暮らしている姿は、家族に勇気を与えてくれます。身近にいる人生の先

輩のように、私も可愛く年を重ねたいと思っています。



《いつも元気で笑顔の素敵なお義母さんと》

◇ 河村 道範 (大洲市 H21年退)

退職してあつという間の7年間が過ぎ、愛媛電友会の常任幹事を引き受けして5年にもなります。

コロナ禍がまだ終息せず、第7波はかつてない水準で過去最多の感染を記録しており、地域交流会も令和元年度を最後に3年間できていない状況です。電友会の活動も、会報の手配りくらいで何も出来ていません。

最近、家族の反対を押し切り「囲碁・将棋サロンみどり」を開店しました。毎週土日のみの営業で頑張っています。いつまで出来るやらと、皆が思っていることでしょう。

「囲碁・将棋サロンみどり」の紹介をさせ



《囲碁・将棋サロンみどり》

て頂きます。
 所在地は、愛媛県大洲市白滝甲174-1
 です。JR白滝駅の近くです。駐車場も完備
 しております。
 会費は一日500円、コーヒー150円、
 ランチ300円で儲けなしの金額です。囲碁
 は大会形式で参加費千円です。豪華賞品を用
 意しておりますのでぜひ、ご来店ください。



《右端が私です》

◇ 岸田 カツ子 (松山市 S63年退)
 玄関先で用事を済ませられる訪問客と会話
 をしながら、季節のお菓子・茶盤を選ぶ。鉄
 瓶のお湯で茶筌を振る。
 ほんのりと日本の香り・・・。
 今こそ「一盃からピースフルを」と、祈る
 この頃です。



◇ 喜多 泰治 (美馬市 H20年退)
 私は今74才、退職して12年、なんとか元氣
 に過ごしています。
 若い頃からやっていたゴルフと将棋、50才
 から始めた登山は退職後の生活に潤いを与え
 てくれています。趣味を通して友人も増えま
 した。
 特に登山は山頂に辿り着いた時の達成感や
 山頂からの眺望は爽快な気分になります。が、
 登山道沿いで見かける高山植物などに出会う
 のも楽しみの一つです。珍しい希少植物や天
 然記念物に指定されているニホンカモシカ等
 に出会うとラッキーな気分にならせてくれま
 す。

来年からは後期高齢者の仲間入り、これか
 らもペースを落とさず今の生活リズムを続け
 ていきたいと思っておりますが、近ごろ登山を
 しているとなんとなく体の衰えを感じるよう
 になりました。そろそろスローライフな生活
 にペースダウンを・・・、そのように思う今日
 この頃です。

◇ 北村 恵美 (高知市 H8年退)
 携帯電話の大きなうねりの中、思い切って
 退職を選んで、ドコモショップを開店して27
 年。当時を振り返って、沢山の皆様のご協力

に感謝してもしきれません。改めて「ありがとうございます」といいます」

今、80才。2年位前から、N T T入社同期(当時18才)の4名で、月一会をやっています。久しぶりの仲間は、皆それぞれに、体の不調を持っていますが、会う度に、元気に、綺麗に、若くなつていくように思います。

これからも、体力を考えながら、一日でも長く、自立して、日々を楽しんでいきたいと思っています。

おかげさまで、今は幸せな毎日です。

◆ 楠本 岩夫 (吉野川市 H21年退)

N T Tを退職後、T W四国とビューテック四国で7年半お世話になり、その後伝統のある鴨島町の菊作りと阿波おどり竹人形や竹あかり作り等で楽しんでいきます。

菊作りは、鴨島菊友会の前会長三好さん(N T T O B)の勧めもあり、諸先輩のご指導等を受け今年で6年目の菊作りを猛暑の中で水やり、肥料、消毒等で立派な花がつくよう日々世話をしているところです。ご案内のとおり3年前からのコロナ禍で、月1回の高松での講習会も感染防止等でご無沙汰しています。が、昨年の第89回の四国菊花品評会では、師匠の三好さんは立ち菊(12鉢花壇)で見事準

優勝(国華園賞)、福助・協議花でも受賞、私は、たち菊(12鉢花壇)と競技花で優等を頂きました。

今年は、梅雨明けからの猛暑で菊の生育が遅れている感じですが、11月上旬の審査に向けて昨年以上の結果を得るべく頑張っているところです。

菊人形展、四国菊花品評会は10月21日(金)11月20日(日)迄、市役所イベント広場で開催予定ですので、近くへお越しの切には見学頂ければ幸いです。



《第89回四国菊花品評会で優等を受賞》



《竹あかり》

◆ 熊谷 淳一 (松山市 H12年退)

60才で退職し電友会に入会。サークルがたくさんある中で健康増進のために「歩こう会」に入りました。当初は会員も150名で先輩が多く、お手伝い程度でしたが年数も経て会計担当を長く務めました。

しかし平成28年頃には会員も高齢化し旅行に行っても歩くのが難しくなり、解散を考慮するようになりました。

気心の知れた方ばかりで思い出も沢山で
 き、平成30年1月をもって解散。新型コロナ
 が発生する前で今思えばいい時期に終えるこ
 とができました。



《松山空港探索ウォーキング (H29.5.18)》

◇ 倉本 逸男 (松山市 H22年退)

今年から愛媛電友会常任幹事を拝命してい
 ます。よろしくお願ひします。

世話役が2ヶタ近くになりましたので、リ
 タイヤ後始めた個人事業を研究活動に絞って
 おります。人生の最終コーナーを充実すれば
 幸福に近づくかと思っておりますが、なかなか
 思い通りにはいきませぬ。

最近、松山人としての嗜みとして俳句を学
 んでいます。拙い俳句と素人写真を組み合わ



《秋 (コスモス)》

せて「エヒト俳句」、季節を詠んでいます。

そこで、秋の一句

「ゆうゆうと 来る黄昏や 秋の花」

◇ 黒石 敬博 (松山市 H21年退)



四国電友会会報200号発行おめでとうござ
 います。

電友会に入会して早いもので14年、その間
 多くの諸先輩からご指導を賜り職域幹事・常
 任幹事を経て、現在副会長を努めさせて頂い
 ております。

今電友会活動を振り返ってみますにNTT
 時代の半分近く四国外の勤務であった私に
 とって、各種活動でお会いできる皆様方との

交流が本当に大切なものであったと感じられる今日この頃です。

一日も早くコロナ禍が終息し、総会・地域交流会、各種イベントで皆様とお会いできることを心待ちにしています。

◇ 小松 正俊 (高知県 H18年退)

今年度、電友会より喜寿のお祝いを頂きましたが、今年の4月よりテレビの朝ドラの影響が、NHKのラジオ英会話を月曜から金曜の朝6時45分より15分間ですが、聞きながら発生練習を脳トレと思いつながり始めています。これから何時まで続くかわかりませんが自分探しです。

◇ 坂口 道啓 (高松市 H22年退)

NTTを退職して12年 (EG協会四国支部事務局長で7年、香川電友会事務局長で5年目) が過ぎました。歳も古希を過ぎ、ゴルフではゴールドティから打つせいかスコアが平均的に90台となりましたが、今一つ釈然としていません。

コロナ禍で海外旅行 (写真はコロナ前に行った台湾旅行) どころか近くへの外出、外食もままならず、ワインの家飲みをして過ごす日々です。

早く夫婦二人で自由に旅行して、楽しく好きな事ができる日を心から待ち望んでいる私です。



《台湾旅行 (国立故宮博物院)》

◇ 里見 達也 (鳴門市 H31年退)

四国電友会会報200号記念誌発行、おめでとつございます。

私は、3年前にNTTコムウェアを退職して鳴門の実家に戻ってきました。学生時代から数えて43年振りの徳島・鳴門でした。時折

の買い物等での外出時に耳にする阿波弁がとても懐かしく聞こえます。ああ、そんな方言、言い方があったなあ。

毎日、自作のパソコンでソフトウェアの勉強やアプリの作成で頭の体操を行い、ギターの練習で指を動かして脳に刺激を与えています。

また、時々妻に代わって料理もしますが、レパートリーが増えません。

これからも、心身の健康に気を付けて過ごしたいと考えています。

◇ 三宮 正博 (香美市 H16年退)



《四国霊場第27番札所神峯寺》

200号記念号の発行おめでとつございます。

会報発行に関わった多くのスタッフの皆さんに敬意を表します。多くの会員投稿をはじめ、工夫をこらし親しまれる紙面で会員相互のコミュニケーションの役割も果たされています。

ました。

高知電友会の活動として、NTT退職者の会と共催で①NTTOB旅行②文化講演会③ボランティア活動などに取り組んでおり、活動を成功させることを目的に、組織からお互いに役員を派遣してきました。その役割に微力ながら関わらせていただきました。

これからも、電友会会報が長く発行され、皆さんに愛読されること期待しています。

◆ 漆川 澄子 (徳島市 H13年退)

退職して20年となりますが、当時は「毎日が日曜日」が嬉しかったのが、懐かしいです。そのうち友達からサークル等に誘われ、いろいろと出掛けるようになり、毎日忙しくなりましたが「コロナ」で「不要不急」の生活になり、テレビのお守りと、クイズ本に挑戦の毎日でしたが、行動制限が緩和されると今度は「出不精」になり、何かと休みがちになりました。

4月頃からサークル等も少しずつですが、頑張ってみようかなあ...って、特に足腰が元気なうちにも思っている今日この頃です。

◆ 篠原 浩邦 (松山市 H21年退)

三つ子の魂百まで

人生で一番最初に観た映画は何だったのか。記憶は曖昧だが、多分『キングコング対ゴジラ』だったような気がしています。ネットで調べたら1962年公開とある。当時8才の少年は、特撮と大音響に圧倒された、というより怖かった。禁煙マークなどお構いなしに、タバコの煙があちこちに立ち込めて、大人の世界に足を踏み入れたような気がしました。

生まれ故郷の新居浜には何軒もの映画館があつて、お馴染みは洋画系の新宝館だった。二本立て、三本立て300円くらいで、一日中映画を楽しめた。先生に引率されて観た『天地創造』(66年)は意味不明だったが、課外授業ということで興奮しました。人生初の封切館デビュー、新宿ミノ座の『ゴッドファーザー』(72年)は、700円もしたことを鮮明に覚えています。

翻つて今、BS放送の映画にはまっている。ほぼ毎日のように放映され、楽しいことこの上なく、生まれる以前の白黒映画から封切間もない最新作まで、様々なジャンルのオンラインード。

YouTubeムービーも多数購入しました。

一番のお気に入りは『007カジノ・ロワイヤル』(2006年)、主役のダニエル・クレイグより悪役のマッツ・ミケルセンが大のお気に入り。自己研鑽もしなくてはと、英語耳を鍛えるため、字幕スーパード版があれば努めてそれを観ていますが、一向に上達しません。でも、三つ子の魂百まで、です。



《孫たちと舌鼓 (東京築地)》

◇ **秀野 拓** (松山市 H28年退)
 四国電友会会報200号発行、誠にとてもおめでとうございます。

昭和47年から脈々と受け継がれた電友会会報の歴史を支えて頂いた諸先輩に敬意を表しますとともに、私のような若輩者に寄稿できる機会を頂きました事、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

現在、私は還暦となりましたが、NTTグループ会社の、さらに保険サービス(株)に勤務し、中国と四国の9県を担当しております。保険を通して皆さまのお役に立てるよう引き続き精進致しますので、引き続きご愛顧の程よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今後もこの歴史ある会報を継続していただきますよう、事務局の皆さまのご健勝と多幸を心からお祈り申し上げます。記念号発行のお祝の言葉とさせていただきます。

◇ **小路 芳雄** (小松島市 H27年退)

退職後、近くの市水道部に勤務しながら、防災士認定取得、市スポーツ推進委員の任務、NTT-OBと地域の方々とのソフトテニス、及びジム通いを楽しいでいます。特に防災士認定取得は徳島大学教授から1週間程度

教室で講義を受け防災知識の習得と学食を頂くなど、学生気分を味わうことができました。最近、電友会の小松島市長寿者2名にお会いし、家族団らんの生活、庭での昆虫観察など自然体の生活に安らぎを感じ、私の方が元気を貰いました。

◇ **資延 隆** (高松市 S63年退)

200号の半世紀50年おめでとうございませす。

香川電友会では、編集委員も経験し平成11年から副会長を4年間、平成15年から会長を6年間努めさせて頂きました。

その頃、元経産局部長、銀行支店長や中小企業診断士の方々と中小診断支援を主目的としたNPO法人を立ち上げ四国全域を対象に活動してきました。



今年で90才になり、さらに膝腰痛がひどくなりりましたが、現在も幹事として在籍、活動を続けています。



《NPO 勉強会の講師時 NPO 勉強会 (手前右下が私)》

◇ **勢井 清敬** (徳島市 H15年退)

私と電友会会報との関わりについて紹介します。

四国電友会会報の創刊号は昭和46年発行、何と、私の電電公社入社年です。そして電友会への入会は平成17年、その時の会報が四国



《海南まぜのおか苜蒲園》

会報130号(徳島会報は60号)からでした。私が徳島電友会事務局長に就任したのが平成20年10月、四国会報144号(徳島会報74号)から。それ以来、発行される度に、特に徳島関係の記事に連絡ミスや問題等はないか気をもむのが常でした。それも13年余り務めた徳島事務局長を今年4月に退いて、少し肩の荷が下りたところですよ。

私も今年で後期高齢者の仲間入り。25年後の四国会報300号の100歳は無理として、せめて四国会報250号の米寿くらいまでは届けられる会報を読みながら、旅行や読書、家庭菜園等の生活をのんびりと楽しみたいのが今の目標です。年とっても今が最高の気持ちで暮したいです。

◇ 曾我 敦子 (安芸市 H17年退)

何の引き継ぎもなく夫が旅立ってはや1年を迎えようとしています。色々な事に興味があり、いくつかの役員もしていたので山のような資料が残されました。初盆までに・・・と息子と二人、これ捨てるき、「ゴメン」と言いながらですが、思うように片付きません。

そのうち私の部屋のクーラーが故障。今度は自分の部屋の片付け。懐かしい写真、資料、会報誌で25年の総会での幹事の承認を得た記事を発見、捨てられなかった洋服を今着れるようになりまた未練が・・・。

断捨離は本当に難しいですね。六人家族の頃の食器も沢山あり、コロナ禍で出歩けない日々ですが、当分片付けに追われそうです。

◇ 高橋 昭義 (松山市 H30年退)



会報200号の発行、おめでとうございます。私はNIT退職後、日本メックス社に入社し4年が過ぎ残り年数も短くなり、最近では退職してからのことも考えながら仕事に励んでおりま

す。

数年前から孫と年一度の旅行を楽しみにしていました。この3年間は残念ながらコロナで自粛しています。孫の成長を年々感じるとともに少しずつ離れていくようで、来年こそ旅行に行けることを楽しみにしています。昨年度、四国会友会の会計監査となりましたが、今後ともよろしくお願いいたします。

私は今、退職後21年目に突入、あちこちが、ガタが出てきてますが、年相応と思いついておられます。

会報が届くたび元上司・先輩・後輩の素晴らしい行動を知り、元氣・気力・行動力の参考にしています。これからも会報が届くのを待っております。

祝電友会会報200号記念誌

◇ 高橋 佳子 (松山市 H13年退)

◇ 滝口 幸夫 (高松市 H9年退)

48才で県立高校の公民科教諭に転職し、62才で退職して早12年が過ぎました。たまたま電友会事務局に寄った折、当時の

事務局長朝倉氏に誘われて入会しました。同時に「ふるさとを歩く会」にも入会し、会員の皆様と様々の名所を訪れ、楽しい時を共有することができました。

残念ながらコロナ禍で歩く会も解散し交流の場が少なくなりました。今は市内に住む孫達の塾が通いの足になったり、株式相場の監視をしたりして日々過ごしています。

◇ 滝本 正照 (徳島市 H26年退)



《今日も元気に懸垂中》

完全退職して5年目になります。

現役時代は、走るのが好きでマラソン大会出場を目指して、休みの日とか仕事の終わりにとか、暇を見つけては走っていました。

退職したら、好きなだけ走ろうと思っていたのに、腰痛がひどくなってきて、全然走れなくなっていました。

だけど、このままでは、しょぼくしてしまうと思い、今は近所の山道を歩いたり、腕立て伏せ、懸垂等の運動をしたりしています。また、毎日欠かさずお酒を飲む等、規則正しい生活を心がけています。

◇ 武知 稲秋 (松山市 H14年退)

私の見た詩吟の世界を紹介します。

詩吟は沢山の流派があり私の所属している流派は、中予地区連合吟詠剣詩舞会に入っており、さらに愛媛県、全国へと続いていります、中予地区で25支部 中予の大会に出場するものでも約180名からなり各支部の総会員数わかりません。中予大会参加者の数倍におよぶと考えられます。

会員は、学生から高齢者まで幅広い人々から構成されています。女性が多く男性は30%にとどくかどうか？

支部では週1で学び、先生から吟題を頂くとともに先生の模範朗吟を録音し、繰り返し聞き覚えます。まねて、自分のものにして、発展させていく、つまり「守破離」の世界です。楽譜はありません。昇段試験の場は年2回(春・秋開催)、一定のレベルになったと、支部の先生が認めると、推薦により段級試験を受験できる仕組みです。

入門してから3年、今3題目を学んでおります。コロナ禍の中、各種選手権大会、月例会、定期総会等が中止となっておりますが詩吟を継続したいと思います。

◇ 只安 健一 (石井町 H19年退)

退職して早15年が過ぎました。10年前にガソリンが見つかり手術をしましたが、術後の経過が良好で元気に過ごしています。

コロナ禍が続く中、最近の過ごし方は、毎朝、大リーグのテレビ観戦で大谷選手を応援しています。ホームランを打つ度に興奮し元気を貰っています。

午後からは、ウォーキングと筋トレによる体づくり、自宅カラオケと漢字ナンク口等の脳トレを行いながら楽しい毎日を送っています。

また、月1回の電友会サークルの健歩会(歩く会)で仲間と一緒にウォーキングを楽しんでいます。これからも定期検査とトレーニングを継続し、健康寿命を延ばしたいと思います。

◇ 立花 武博 (宇和島市 H14年退)

現役リタイア後、地元自治会の役員を10年ほど続け、その合間にアマチュア無線を運用



《自慢のアマチュア無線ルーム》

していました。その後、自治会役員から解放され、本格的に海外アマチュア局との交信を目指し空中線等の設備更改を実施。広く海外局との交信を楽しむようになりました。

世界のアマチュア無線局の多くは、DXセブンチュリークラブ（略称DXCC）に属して日々アマチュア無線を楽しんでおり、同様に私もこのクラブに属しています。

DXCCでは世界を340の国と地域に区

分し、その対象地域と交信する毎に登録を行う制度があります。そのため、日々無線機の前に座って未交信の国や地域の無線局がいなか探し続けています。

現在318の国と地域との交信を完了していますが、最果ての無人島やアマチュア無線制度を原則認めていない国など、22地域が未交信で残っており、残り22地域の内一つでも追加できればとの思いで、日々アマチュア無線を楽しんでおります。

◆ 田所 秀二（南国市 H22年退）



役員として早7年

地域では公民館長等にも携わらせていただき、結構忙しかった時期でもあり、役員にな

りたての当初、本当に電友会で自分に何ができるだろうかと思いつながら取り組んできましたが、早7年が経ち今は事務局長という肩書を頂いて、割と大雑把な私でも何とかできています。個人的には、最近友人に誘われシルバー人材センターへ登録し、体の限度を考えながらこの暑い中で草刈りをしたり、庭木の剪定をしたり結構忙しくしています。

◆ 田中 清平（伊予市 H20年退）

会報の「私は今」のコーナーは、退職後の地域のボランティア等さまざまな活動をされている仲間や先輩の方々の近況を知ることができ、勇気や元気をいただくことも多々あり大変な楽しみでもあり、私の生き甲斐にも役立っています。また、「趣味の作品展」は、プロ顔負けの作品も多く、NITグループ会社の人材の豊富さとタレントレベルの高さに驚かされます。

コロナ禍が進む中でFace to Faceで総会の懇親会（杯を傾けながら、それぞれが経験してきた苦労や悩み近況等を気軽に語り合いながら共有し励ましあえ交流等が深まれば、・・・云々）が開催できないのであれば、この会報を通じて情報を共有することが更に

求められるのではないかと思っています。



◆ 次田 武子 (津野町 H6年退)

この度は米寿のお祝いありがとうございました。

退職してから高知電友会幹事の役を頂き、楠瀬会長や岡林さんの指導を受けながら楽しい役員会が月1回あり勉強させて頂き、NTT東京本社の見学にも行き、桜の花の下での宴会は忘れられません。先輩の方々に逢いたいけど今はコロナ禍で淋しい限りです。

今の私は自分の体の衰えに打ち勝ちながら、女性の体操カーブスに通っています。会報作成の皆様と早く逢える日が来ますように。電友会会員の方々がだんだんと帰らぬ

人となり、面影ばかり浮かび悲しい淋しい日々です。

◆ 常行 悦功 (茨城県守谷市 H1年退)

つけっぱなしのTVからの歌にエ、エツ? となりました。椅子にかけた膝に立てた小型のハープを爪弾きながら歌う女性、そのメロディ、それは70年前、私が20才の頃から愛唱してきている歌でした。

♪夕暮れのうらさびしい草原の果てに疲れきった馬に乗ってコサツク兵が嘆く

歌はロシア民謡「コサツクのエレジー」愛媛県庁ほか官庁街の職員を中心とする合唱団にとびこみ最初に教わった曲です。

TVの女性が語り始めました。「この楽器(バンドウーラ)は、私の愛する祖国ウクライナの民族楽器、歌はウクライナの歌です。私は日本で音楽活動をしています。危難に苦しむ祖国に少しでも手助けしたい思いでいっぱいなのですが・・・」

今年2022年2月24日、この日ウクライナは、ロシアに侵攻されました。同じ日、私は誕生日を迎え満90才になりました。女性の歌と語りは今も強く耳に響いています。私にはウクライナの人々の苦しみが一日も早く終わるよう、ただ祈ることだけしかできません

ん。

(コサツク騎兵の祖国はウクライナです)

◆ 鶴見 邦夫 (三木町 H15年退)



我が家にも「働き方改革」の波が押し寄せてきました。朝と昼の食事は自分で用意する事となりました。

朝は定番のトーストとサラダで、昼は麺類中心の料理です。その中で超絶品なのが讃岐名物の「釜玉うどん」です。沸騰した湯に冷凍うどんを入れ2分間茹でます。後は卵黄を絡め、お気に入りのうどんのつゆをかけ、ネギとショウガを入れ出来上がりです。

これで少しは妻の家事労働が軽減出来たかと思っております。

◆ 寺本 和男 (須崎市 H22年退)

今年はボランティア高知OB会主催の「野市あじさい街道」剪定作業を7月に終えて、今は家で親の介護をしながら毎日過ごしています。

今後の予定は年末にボランティア「車椅子清掃」があります。冬には趣味の磯釣りが待つ

ています。あと2年くらいは行くこうと思っています。
います。

最近、家の温水器が不良になり工務店に取替工事を依頼しましたがコロナの影響でエコキュート本体が確保できにくいと言われ取替工事は2月先になってしまつて大変です。会報創刊200号お祝い申し上げます。

◇ 戸川 章（鳴門市 H30年退）



ていました。

何かしなくてはと思い、鳴門市が主催している「65才からの男のッキング」の受講と、鳴門・大塚スポーツパークでの運動教室に参加し、楽しく有意義な時間を過ごすと共に、小さな畑で家庭菜園を始め簡単な野菜等を作つて楽しんでます。

また、今年度から徳島電友会事務局長に就任し、週に2日程度は事務所に出向き事務局メンバーと会員の方々の協力をいただきながら、自分のできることからコツコツと電友会

業務を行っている現在です。

◇ 徳田 トミエ（松山市 H10年退）



を感じます。

私は去年股関節の手術をし、シルバーカーを押して出掛けています。

先日新聞に「拾いびと」というタイトルで書かれていたのを読み、「ゴミを捨てる人が10人いて、拾う人が10人いればゼロになる。」散歩に行く時はポリ袋を持って行く」と言っておられました。私も見習いたいと思ひ団地南側の小野川を一周しましたが、一つもゴミは落ちていませんでした。他の道も歩いてみます。

◇ 徳永 禎憲（今治市 H8年退）

退職して早いもので26年がアットという間に過ぎ、今は家内と二人で元気に暮らしています。

80才を契機に地域のお世話を卒業し、今は

今年の夏は異常な暑さとコロナ禍で大変な毎日でした。此の処朝晩は涼しくなり昼間も風があり秋らしさ

今年度の夏は異常な暑さとコロナ禍で大変な毎日でした。此の処朝晩は涼しくなり昼間も風があり秋らしさ



毎日50分程度のウォーキングと庭の木々の手入れなどで、健康維持に努めています。

今年もコロナ禍で大変な時期ですが、8月には孫の結婚式で九州に渡り、若い二人の門出を祝福すると共に元気を貰うことができ、幸せな年になりました。これからも、家内と二人で健康で穏やかな日々を過ごしたいと思つていきます。

◇ 富永 清光（松山市 H17年退）

皆さんお元気ですか？ 私もコロナに負けず、暑さにも負けず頑張っています。また、今回は会報200号記念おめでとうございませう。この会報が届く頃にはコロナの勢力も弱まってくれることを祈ります。

そんな訳で退職後ふる里に伝わっている県指定無形民俗文化財「山鳥坂しめ神楽」の一員として公演等を行っていました。がイベント等の中止が相次ぎ、もう3年近くは出番がほとんど無く残念です。

また、趣味で始めたカラオケに三味線。屋外でのクロッケーやグラウンドゴルフ等も休みが多く、今は時間を持て余しています。早く祭りやイベント各種行事も復活して今までと同じ様な生活が送れるように祈るばかりです。

皆さんも体に気を付けて元気に過ごしましょう。

◇ 長井 攝子（松山市 H14年退）

四国電友会会報200号発行おめでとうございませう。

平成14年に退職し、その後暫くして当時の愛媛電友会のM事務局長からのお誘いを受け電友会の仕事のお手伝いがスタートしました。

仕事の内容は総会・趣味の作品展など多々あり、会報の封入作業もその中の一つです。気が付けば、あの日から年月を経て今年で20年にもなっていました。そして今回で200号発行にまで携わったことを思うと感慨深い

ものがあります。

振り返ってみると色々なことが沢山あり、楽しく仕事をしてきましたが悲しいこともありました。

平成23年は特に大変な年で、それまで四国地方本部の事務局長をされていたOさんが亡くなられ5月の総会に向けての準備と資料作りをA事務局長としていたのですが、そのAさんも体調不良で休養し、結果二人ともが同時に不在になったことです。そのような時、私が現役の頃からずっとお世話になっていた四国電友会のK会長を中心に四国の元事務局長をされていたIさんと一緒に難局を乗り切ったことや3月11日の東北震災の発生により電友会の本部からの連絡に追われたこと等、それまでに経験をしたことがない仕事で不安もありましたがK会長の励ましもあったお陰で何とか乗り切ることが出来ました。

その4月には後任のY事務局長も着任し無事に総会を開催することが出来、終わった後は安堵しK会長と喜び合うことが出来たことを忘れることはありません。（そのK会長も天国に旅立たれたことは悔しくて残念です。）その後、愛媛電友会の副会長に就いてからは以前に比べ役割も業務内容も行動範囲も広くなり、新しい方たちとの出会いも多く、嬉

しいこともありました。

電友会のお手伝いし、知らないことや分からないことも多々ありましたが、常に色々と教えて下さりアドバイスもして頂くとともに学ばせて下さったK四国事務局長やY愛媛事務局長には感謝しています。ありがとうございました。

そして、どんな時でも何時も暖かい応援をして下さった方々、またこの約20年という長い間電友会の仕事を続けてこられたのは関係者皆様のお陰です。ありがとうございました。



《木内康雄さんと趣味の作品展にて（2019.9.25）》

◇ 中西 正弘 (高知市 H7年退)

四国電友会会報200号おめでとござい
ます。
会報は会員の皆様の情報やNTTグループ
の各種情報を知る大切な手段として重要な役
目を果たしており、毎号楽しみにしております。

さて私は昨夏散歩中に倒れ、心臓のバイパ
ス手術をしましたが各種リハビリ等で元気に
なりました。妻には2年前に先立たれ、現在
は次女と高3の孫娘と暮らしております。

この頃は、今日ある命に感謝しつつ、趣味
の囲碁やカラオケを楽しみつつ余生を過し
ております。

会員の皆様には、健康に留意して元気にお
過ごしください。

◇ 中原 稔 (小松島市 H27年退)



昭和57年、西条
報話局に入社して
間もない線路宅内
課の花見の席で、
F先輩から「わし
らは1日に5件は

SO工事や故障修理に行くけど、お客様から
すれば5年に1回、10年に1回の機会になる。

どの現場でも自分が持っている技術の精一杯
の事をせなアカンよー」

現在、終活分野の行政書士をしております
が、18才の時に戴いたこのお言葉は、今も大
事にしております。相談者からの「ありがと
う」が嬉しい、今日この頃です。

◇ 中村 美知 (高知市 H20年退)



今夏、後期高齢
者のお仲間入りを
しました。

今年は年明け
早々に極々早期の
肺がん手術を受け

ましたが、今はもう、時に傷痕周辺がつつぱっ
たりチクチクする程度ですっかり元気にな
り、リズム体操やフラダンスのお教室、友人
同士でのボウリングなど楽しんでます。O
Bサロンが開設されたら民謡サークルの再開
も楽しみにしています。

受験生を持つ我が娘、コロナ禍の今はほぼ
まかない担当をしている私の行動チェックに
けっこう厳しいものがあります。

「海に向こうへのフライト」絶賛待機中!!



◇ 橋田 敏朗 (今治市 H17年退)

御朱印の旅

40才(平成2年)から四国八十八ヶ所巡り
を始め、平成11年に9年かかって結願しまし
た。その後は、最北端は北海道・稚内の「北
門神社」、最南端は沖縄の「波上宮」と旅行・
出張の機会に社寺の御朱印を収集してしまし
た。

平成24年息子の大阪転勤・引っ越しの手伝
いの際、奈良に足を延ばし、興福寺の人の列
に並んだのが西国三十三所の御朱印の列でし
た。それから10年、息子の家のイベントごと
に足を延ばすこと13回、関西6県を廻り、4
年前男孫が生まれた際に琵琶湖近辺を廻り、
残ったのが天の橋立近辺の2ヶ寺にまでたど
り着きました。翌年には結願予定でしたが、
まさかの病気とコロナです。その時の孫は、
今年幼稚園に入園しました。今年は何とか結
願したいと思っています。

一方で、今まで多少自信のあった運転が自
分で？マークがつく事が散見されるように
なってきました。①バック駐車が何故か斜め
になっている・・・②狭い道の車幅感覚が少し
心もとない・・・できるだけ自分の運転で、
2ヶ寺への道をYoutubeで下見しながら結
願方法を検討しているところです。

訪りたい所は他にもまだまだあるのですが、その数に比較すると、明らかに時間と体力が足りないですね。

◇ 濱 順子 (海陽町 H14年退)

四国電友会会報200号おめでとござい
ます。

退職して早20年、その間いろいろありま
したが今は元気に一人暮らしです。

今年2月ロシアによるウクライナ侵攻が今
でも続いています。

私の父は沖縄の激戦地で戦死し、他人事だ
と思われません。父のために母から遺族会の
役員を引き継ぎ19年になります。

遺児として若い人達に戦争の悲惨さを伝え
たく語り部や学童には紙芝居を、また大学生
にはオンラインでの父の体験を伝えていま



す。この先日本では戦争が起きないような今
の活動を続けていきたいと思えます。

最近思いがけなく県民表彰を頂きました。

◇ 板東 清司 (徳島市 H25年退)

昭和51年近畿電気通信局に採用され、電
近畿野球部に5年間、その後関西で30年余り、
四国で20年弱、来年3月末でNTTグループ
を退職予定です。ここまで勤めてくれたのも
諸先輩、同僚、後輩等いろんな方々の教え激
励等によるものです。本当にありがとうございます。

今後は、先輩をはじめ皆様方から頂いた御
恩をいかに後輩の方々に繋いでいけたらと考
えています。

会報200号記念誌発行のタイピングでこ
のような機会を与えて頂きありがとうございます。

ました。

◇ 東根 源二 (徳島市 H14年退)

NTT退職から20年。完全リタイアして13
年。

隠居生活に暇を持て余し、ここ数年は、山
里の生家にこもり、百姓のまねごとをやって
います。

昼は、西瓜、南瓜を小脇に抱え走り去る猿

の集団。夜は稲穂や野菜を食べる鹿等小動物
の楽園で餌作りに汗を流しています。

他、週1回は鋤をクラブに持ち替えて、好
きなゴルフを楽しんでいます。

◇ 東野 昇 (土佐清水市 H27年退)

会200号おめでとござい
ます。50年の長
きにわたり発行し続けたことは、ご苦労も
あったことと思います。

私はといえば、退職して7年目を迎え、高
齢者となった今でも「生きがい」を模索中
です。退職前は「イラストレーター」、「自給自
足の生活」等々、夢いっぱいでしたが、飽きつ



《愛犬と》

ぼい性格もあって、なかなか長続きしなくて今に至っていますが、会報で皆さんの近況やご活躍を拝見するにつれ、このまま年をとってもいいものか（多分このまま終わってしまう気がします）と気持ちを新たにしている今日この頃です。

◆ 平井 善起（松山市 H7年退）

感謝の老後人生

年齢は傘寿からもう3年が過ぎました。加齢と共に体力の衰えを感じますが、それなりに元気で毎日を過ごしています。

思い起こせば、入社時の高知・室戸電報局を皮切りに、愛媛、東京、大阪、徳島等を勤務地として転々としてきました。

それぞれの地で諸先輩・同僚等に出会い、ご指導を頂きながら素晴らしい時を過ごしてきたことに感謝しているところです。

それでも突然、その先輩方の訃報に接する時があります。その時はその先輩との出来事等を思い出しながら、心の中で感謝申し上げます。冥福をお祈りするばかりです。

今年で町内会の役員は引退を予定していますが、ゴルフに関しては、まだまだ足腰の丈夫なうちは頑張りたいと思っています。



◆ 平野 文夫（宇多津町 H21年退）

昭和42年入社から47年間勤めたNTTやグループ会社を退職してから9年目です。電気記念日が私の誕生日と同じ日で、今年74才です。

退職後は自治会、町委嘱委員、交通安全協会、自主防災、OB団体の世話役を引き受けて現在に至っています。

昨年、母を看取り今は4人家族です。日頃は、家庭菜園や地区の公園でコスモス、コキア、菜の花等の手入れに汗を流しています。コロナ禍で私の大好きな秋祭りが縮小されましたが、今秋こそは太鼓台祭が執り行われることを期待しています。



◆ 福田 信博（観音寺市 H17年退）

あと半年もすれば後期高齢者の仲間入り。地元自治会の世話役も一段落し、今は季節の野菜作りを楽しみながら、遺族会、同窓会、退職者の会のお手伝いの他、青色防犯パトロールを行っています。

また、別の友達3人と自宅での持ち回り飲み会を楽しんでいます。今はコロナ禍で開催を見合わせています。4回目のワクチン接



種も完了し、後は早期コロナの終息を願うばかりです。

◇ 藤田 芳夫（藍住町 H30年退）

会報200号刊行おめでとございませう。関係者の皆様に敬意を表します。私は昭和46年の採用なので会報と同じ歴史を刻んできたのかと知り万感の思いが込みあげてきました。

退職して4年余りが過ぎ、第二の人生を満喫中です。孫達の学校送迎も終え、家庭菜園90坪と週1回のカラオケ喫茶、毎月1回の電友会サークル「健歩会、カラオケ（コロナ休止中）、ボランティア」とできる限り人と接することを大切にしています。これからも役員として体の続く限り努めて参ります。



◇ 二川 俊昭（高松市 H7年退）

四国電友会会報200号記念誌も発行おめでとございませう。

私がこの会報に最初に関わったのはまだ現役の時、東四国国体が開催され、その会場で香川電友会の多くの会員の方がテレホンカードの販売を手伝ってくださり、そのお礼の記事を寄稿した時です。（第85号平成6年1月）時の電友会四国地方本部・本部長（御存命）から香川電友会へお誉めの言葉があったこの事でした。

その後退職し会員になってからも役目上



「支部だより」「ボランティア紹介」等の記事を投稿しましたが、驚いたのは3回目の「私は今」の記事を寄稿したら他人様の顔写真を掲載されました。「やってくれましたね！」

下口スタイル。年齢八十と余年男子の平均寿命を超して目下

当番制の自治会長があたり、老骨に鞭打っています。そのうち黄泉の国へ。

◇ 古川 芳久（高松市 H22年退）

2010年にNTTを退職して関連企業に8年、そして2018年にNTT香川支店の中讃・西讃エリア責任者として契約し、5年目に入っています。

退職前は、退職したらゴルフ・ジョギング、書道・絵画等をやってみようと、思っていたのですが、71才になった現在、主にはNTTエリア責任者の業務と朝と夕方の散歩を兼ねた約5kmのジョギング、書道は50年続けている約百枚の年賀状を墨で書く事、ボランティアとして地元小学校の見守り隊に入り登下校時の引率・立哨等を行っています。

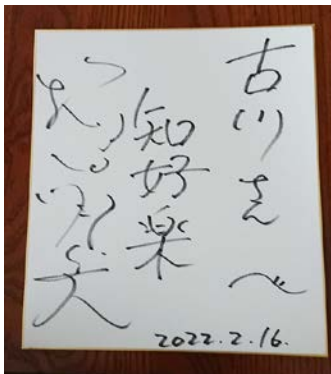
話は変わりますが、今年の2月にスポーツジャーナリストの増田明美さんの講演会を聴講した後、「古川さんへ・・・」と、色紙にサインを頂きました。色紙の中の「知好楽」

とは何事をやるにしても、知ってる人より好きである人が勝っており、更に好きだけの人より楽しむ人が勝っている。つまり何事も楽しんでやる人にはかなわない」と、いう意味ですが、私もこの「知好楽」の気持ちで何事にも元気に楽しくやっていこうと思っっています。

皆様もどうぞでしょうか……。



《春石匠の里》



《増田明美さんサイン色紙》

◆ 堀江 満子 (吉野川市 H24年退)

退職してから、子供達に絵本の読み聞かせや視覚障がい者への朗読奉仕に関わりたいたいと思い活動しています。そんな時、同級生に「人形浄瑠璃せんで」と誘われました。知識も関心もなかったのですが、誘われるまま始めて、かれこれ10年経ちます。

私の担当は、口上とおつるちゃんの左手づかいです。今年から小学4年生の社会の教科書に採用され、コーナーの写真は我が「名月座」が使われました。公演後、子供達と体験学習をすることもあります。



《左から3人目が私》

阿波踊りは有名ですが、人形浄瑠璃も国の重要な文化財に指定され、歴史のある伝統芸能です。健康に気をつけ、もう少し続けようかなと思っております。

◆ 松澤 通忠 (松山市 H11年退)

会報200号おめでとございませう。



ふと気が付けば、もう後期高齢者の仲間入り。だが、

が、気力・体力共に元気で日常生活を送っています。これも長年、心身共に支えてくれた妻のおかげと感謝！

また、町内会他各祭礼行事等も可能な限り参加し「枯れ木も山の賑わい」的な立場で、お邪魔虫にならないよう楽しんでいきます。

更に喜ばしいことは孫の誕生。泣き叫ぶ声に健やかな成長を願うばかりです。平々凡々な日常生活に幸せを感じ、いつの日か来世へのお迎えが来る日まで、妻と共に日々平凡な生活を送れる幸せを享受したいです。





《鏡川湖畔》



《鷲尾山 (306m)》



《鷲尾山さんより浦戸湾・太平洋》

◇ 松丸 純二 (高知市 H25年退)

6月に古希を迎えました。今は高知電友会で事務局のお手伝いをしていきます。以前から、退職したら何か趣味でも見つけて楽しく過ごすそうと思っていましたが、なかなかこれと思うものを見つけれずにごこまで来ました。今では、何もしないでのんびり生きるのが自分流だと聞き直りの気持ちです。それでも身体だけは健康でいなければと、

近くの鏡川の辺りをウォーキングやジョギングをしたり、近郊の低山にトレッキングに出かけたりと楽しみながら体力の衰えをカバーしています。

最近話題になった本「70才が老化の分かれ道」「80才の壁」(何れも和田秀樹氏著)を読みました。老化の分かれ道に達しましたが、この先「80才の壁」を超えて幸せな人生だったねと振り返れる時を迎えてみたいものです。

◇ 松本 増男 (土佐清水市 H26年退)

再雇用を経て平成26年に退職し8年になります。これといった趣味がないので、午前中は新聞、クロスワード。午後は読書、テレビ、夕方約50分のウォーキングで一日が終わります。

脳の活性化に始めたクロスワードは2年経ちますが、楽しくやっています。後期高齢者が迫っておりますが、心身の老化防止に気を付けていきたいと思っています。

◇ 真鍋 廣幸 (三豊市 H16年退)



毎回「私は今」の拝読を楽しみにしています。特に同じ職場におられた方の寄稿文には安堵し感動しています。

ます。

前回寄稿時の目標設定(読書やらジム通い)は眼の衰えやコロナの影響でことごとく断念し、3年前から健康維持にと日々ウォーキングを継続中です。家の中に閉じこもってはいられない近隣の人達との会話を楽しんだり、野菜や花などをもらったりあげたりと交流を深めています。

を買ってきて、庭先に植えてみました。PCで野菜の育て方を調べて、2週間毎に追肥を施し、支柱立て・わき芽摘みをして、7月には胡瓜が沢山実をつけ、新鮮でおいしい野菜を食べることが出来ました。茄子・ピーマンは、今も元気に実をつけていて、大きくなったらと思っています。初めての野菜作りですが、水やりと追肥で育てることが出来て満足しています。妻も喜んでいます。

6月には車を前から乗ってみたいと思っていたSUV車にしました。スポーティでハンドルが軽くて、小回りがきいて、とても乗り心地が良い車です。遠出を計画していましたが、コロナの「第7波」で感染拡大が止まらず、少し様子を見ています。早く実現したいです。

残暑厳しき折柄、ご自愛ください。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

◆ 三好 泰子 (新居浜市 H11年退)

会報200号おめでとつございます。

私は小学校のお琴クラブのボランティア活動を7年続けています。お琴を見たことも触ったこともなく、正座をしたことのない子供達がやさしい曲を弾けるようになった時は「よく頑張ったね」と喜んで合っています。

また毎回子供達からパワーを貰い充実した時間を過ごしています。今は、子供達との一期一会を大切な宝物にするため、健康管理を第一の生活をしています。

皆様もコロナ等不安な日々ですがお元気に過ごしてください。

◆ 村上 嘉昭 (多度津町 H6年退)



昭和46年第一号発行、積滞解消のため汗を流していた頃で、上司から「これからはINSの時代になり在宅勤務も可能になる。また、電話はどこからでもかけることが出来るようになる」という話を聞いたことが懐かしく思い出されます。

あれから50年、200号発行、そしてIP網、5Gスマートフォン、テレワークの時代になりましたが、このICT技術が戦争の大きな武器にもなっているのをテレビで見ると、複雑な気持ちです。

私は今83才、60年前前の社内レクの草野球から、シニア野球に10年前から久しぶりに参加して、我を忘れております。これからはもう少し頑張って、そして会報

を通して懐かしい人の声を聞き、遠い昔に思いを馳せたいと思っております。

◆ 畠田 正次 (高知市 H23年退)

昨年は初孫が誕生し、この8月が初誕生会でした。孫はかわいいですね。

私事は良かったのですが今は暗いニュースが多過ぎます。外出したいがコロナも心配、特に日中は熱中症警戒アラートが連日なので、ついクーラーの効いた室内に。そんな訳で雰囲気だけでもストリートビューで模擬旅行です。南米リオのコパカバーナ海岸からイパネマ海岸までの砂浜が続きます。車も多い。前方には奇岩の一つが見えてきました。

◆ 室田 浩志 (松山市 H7年退)

愛媛支部の役員を命ぜられ、似合わぬ仕事に翻弄されていたのが2010年頃のこと。

懐かしいといえば、当時は活動の裏付けとなる財源確保には例年四苦八苦しており、事務局の内職(企業の広告宣伝パンフレット配布等)によって辛うじて破綻を免れるという年度もありました。

そんな中で、新企画「趣味の作品展」はなかなかのヒット商品で、多くの芸術家会員の登場に目を見張ったものでした。

一昔前、共に飲み歩いた友人知人の中には、既に鬼籍に入られた有能の士も少なくありませんが、彼らなら稔勝でマスターしたであろうスマホの操作が今の自分にとっては高い壁となつて、楽しくて興味深い話題への接近を拒んでいます。

それでも、紙の本も新聞もテレビも現金も、我が世には存在し、通用し続けるに違いないと痩せ我慢していますがどうなることでしょうか。

◆ 元木 利之（鳴門市 H7年退）

退職して二十数年が過ぎ、間もなく7回目の年男を迎えます。

現在でも月に2〜3回のゴルフを楽しんでおります。飛距離も随分と落ち、集中力も鈍り、物忘れも多くなつてきた今日この頃です。

しかし、ピンクマークになると得たような寂しいような気持ちですが、元気で出来ることに感謝・感謝です。

また、地域では、若い頃の不義理の恩返しに神社・お寺・老人会等のお世話を十数年前から引き受け、現在も楽しんだり、もめたり、盛り上がったりのお付き合いをしています。お陰様で、これまで入院等の大きなトラブル

もなく過ごしておりますが、コロナ禍が早く収まり、総会や懇親会等を皆さんと早く一緒に出来ることを心待ちにしています。

◆ 柳原 寛信（松山市 H18年退）



昨年の「四国電友会50年の歩み」では令和4年3月一杯で愛媛電友会事務局を次の方にバトンタッチし、

4月からは電友会事務局のお手伝いをしながら趣味の写真と断捨離に取り組もうと思いを馳せていたのですが、逆に本年4月から新たなバトン（四国電友会事務局）を受けることになり、趣味等は当面お預けとなりました。

四国電友会では是迄11年間愛媛電友会で事務局業務に携わりながら四国電友会の業務にも関わっていたことや新たに愛媛電友会の事務局に就かれたーさんや前任のWさん・Kさんの協力を頂きながら今の所は可もなく不可もなく業務が出来ていることに感謝しています。

ただ残念なのはコロナ感染の影響から過去2年間開催出来ない総会・懇親会が今年も開催出来ないことです。

早くコロナが終息し、総会・懇親会に加えサークル活動や親睦旅行等がマスク無しで出来て、facebookで会員の皆様方との懇親が図れる時が来ることに加え、この3年間会うことが出来ない東京に居る孫達に会えることを願うばかりです。

◆ 矢野 昭和（松山市 H13年退）

5月で82才。幹事を仰せつかつてもう何年経ったかな。「会報」配り、いつも気持ち良く挨拶してくださり、もう少し頑張るつもりです。

毎週、先輩達が結成したソフトボールクラブ「電電シニア・マンモス」で地域の人も交えて練習を楽しんでいます。

また、ウエルネスクラブでは、エアロヤリトモスの教室にもチャレンジしています。NTT時代の知人、友人もおられ会話も楽しんでいきます。

さらに営業担当時代のお客様訪問での「美声」を生かして合唱団に入り、演奏会に向け練習しています。

◆ 芳田 雄二（阿南市 R2年退）

インターハイのホッケー大会が徳島県阿南市で7月30日から5日間開催され、私は大会

のお手伝いで光高等学校の競技場で参加することができ、熱戦を数多く観戦することが出来ました。

全国レベルのホッケーを見るのは初めての経験、攻守の切り替えや駆け回る速さとスティックさばきの巧みさに感動した日々でした。

今年の夏は、いつもと違う暑さに気をつけながら過ごしています。今は、稲刈り準備の最中です。



◇ **好村 節子** (東かがわ市 H25年退)

65才で定年退職後、同職場で契約社員として雇用され、2年後に退職しました。その後は地元で、放課後クラブや公民館勤務をしながら、市の方から業務の依頼があれば市役所へと通っています。放課後クラブは辞めましたが、公民館と市の仕事は続いています。

70代になっても、元気で業務ができるのはNTT時代に出逢った方々の教えや導きのおかげだと感謝しながら仕事に励んでおります。

5年前からは健康のために、ボウリングを始めました。今では2、3日に一度はセンターへ行って試合や練習に汗を流しています。「まだまだ動けるなあ」と子供達や嫁達、そして孫達に感心されつつ、楽しく元気な日々を送っています。



《公民館のお仕事風景》

◇ **依光 俊一** (松山市 H16年退)

四国電友会会報200号記発行おめでとうございます。

入会以来、会報を通して会員の皆様の現状を知ることができ大いに活用させて頂いております。

サラリーマン生活を終え8年が経ちますが、ウォーキングやスポーツジム通いで衰えていく身体機能の維持に努めておりますが、意に反して、年々体のいたる処に不具合が生じ、手当てが必要になってきている今日の頃です。

従って、ライフワークの一つでもある実家の庭木の手入れが年々大義になってきておりますが、安全第一に出来るだけ長く続けられるように頑張りたいと思っております。

早くコロナが終息し日常が元に戻り、そして「男の料理教室」が再開されることを願っております。

◇ **和喜 隆夫** (徳島市 H26年退)

退職後、「ボケ防止」のために「囲碁」を始めました。ルールを知っていた程度で始めたためか、なかなか棋力は上がりません。

最近、「徳島市棋道会」というグループに参加させて頂き、週3回程度、対局を楽し

んでいます。対局がない時には「暮才」向上を目指して日々精進しております。

退職後も、あまり自宅に籠ることもなく、好きな趣味に出掛けて楽しく過ごしています。(亭主元気で留守が良い！)

◆ 和 田 由 美 (高知市 H26年退)

会報誌200号おめでとございます。退職と同時に電友会に入会して早いもので8年になります。

現在、微力ながら高知電友会で編集担当に携わっております。在職中は、良き先輩・同僚に恵まれ、退職後は会員の方々に助けられ感謝の日々です。

私事ではコロナ禍で出掛ける機会が少なくなり、これ幸いと終活片付けに精出しているところですが、生来の怠け癖でなかなか進みません。

これからの余生を好きなものに囲まれて「ああ幸せ」と暮らしていけたらと願う今日この頃です。

◆ 渡 部 昭 (松山市 H25年退)

松山市議会議員4期16年、皆さまのご支援を頂き任期を終えることが出来ました。これまでのご支援に感謝いたします。



議員はやめましたが、政治活動は続けます。

具体的には、令和6年から森林環境税(納税者一人、

年間千円)が導入され、森林の持つ機能(環境・防災・水源)等が重視されてきます。

ゆえに森林保全活動に取り組み、自治体に提言するよう取り組みたいと考えています。

健康第一で頑張ります。

◆ 渡 辺 伸 一 (東かがわ市 H18年退)

編集委員になってはや3年

早いもので、電友会香川の編集委員になって早3年経ちます。

電友会の活動を殆ど知らない状態で、前任



《愛犬と》

者が体調を崩し後任の編集委員を探しているとのことで、急遽引き継ぎました。

香川の勤務経験がないまま退職後、松山から故郷へ帰ってきて、当時の協和エクスオ四

国支店に勤務させていただき8年が経った頃で、香川での人脈がないまま、誰に執筆をお願いするか非常に不安な状態で「会員の趣味・特技」のリストを参考にテーマ(健康、ボランティア活動、ドキュメント)に関する執筆をお願いしてきました。

依頼した方とは面識もなく、紹介者もない状態で電話での依頼でしたが、快く引き受けて頂いて感謝の念がありません。それぞれ投稿して頂いた記事は、「まじめに豊かな人生を歩んできた」成果と思われる内容を自分の言葉で飾らず素直な表現を記していたいた素晴らしい内容ばかりでした。

私個人としても、「健康に感謝」という内容で掲載させていた時は、つたない文章でしたが何人の方から連絡をいただき、電友会冊子は皆さんに読んで頂いているのだという感を持ち、これからも微力ですがお手伝いさせて頂きたいと思うこの頃です。

◆ 渡 部 伸 二 (松山市 H23年退)

最近、目を離せなくなった奥母(97才)

の介護。

在職中できなかった地域のお世話(寺総代・松山市・東温市共有山林組合議員)に加え趣味である石の仲間との交流等忙しい毎日です。また最近のコロナウイルスの感染拡大で、会う機会の少なくなった県外に住む子・孫達との再会を楽しみに元気で過ごしております。

電友会ボランティア活動賞受賞者

◆ 泉原 猛(松山市) 平成22年受賞

バードウォッチングなどは、個人の単なる趣味にすぎない、というのが世間の一般的な見方でしょう。

ところで、野鳥を観察することによって、同じ高次消費者であるヒトの暮らしや自然環境との関わりが具体的に理解できるのです。探鳥会の企画・実施、公民館や学校等での実技指導・講演等のほか、分布調査、標識調査、会報の発行等々、多岐にわたる仕事も次代の世話役に恵まれ、今では引退の時期となりました。

◆ 萩森 和子(西予市) 平成24年受賞

200号おめでとうございます。「継続は力なり」とおり四国の交流とニュースが退

職者の絆となり、毎回楽しみに拝見しておりました。

以前、電友会本部表彰を東京で頂き宿泊が京橋会館でした。来年は無くなると聞き「残念だなあ」と名残惜しくて遅くまで語り合った事を思い出します。

私は小学校や保育園の絵本の読み聞かせでの受賞でした。20名の会員と一緒に毎年本お選び方やお口の体操を学び、児童の反応、学年の様子を記録し学校との連携を取り安心して



活動を続けてきました。今年で23年継続中です。

市の教育委員会から両校の学校運営委員会を委託され、児童の健全育成のお手伝いをしています。高齢者だから見える意見を発言したり「よみつこさん」と話かけられ「なんて幸せなんだろう」宝物を頂いたみたいに感謝したくなります。

この読み聞かせを老人クラブでも行い、介護や認知症を予防する手立にしたいと市の長寿課と一緒に取り組むことにしました。歳は84ですが、何故老いるのか、どうすれば健康に生活できるか、取り組んで参ります。

◆ 乗松 武明(松山市) 平成26年受賞

「おもちゃ病院」ドクターが平成26年電友会で認められて、全国表彰され大変ありがたく感謝しております。

「おもちゃ病院」は、20年余り続けました。修理が出来上がった時子供達と共に喜び、修理不能の時は共に悲しみ、常に子供達と寄り添ってきました。そのために、部品集めや技術の向上にも心を配ってきました。

令和元年には「小さな親切運動・尾山賞」も頂き、地道な活動が取り上げられることを嬉しく思っております。

◇ 十川 佳久（藍住町）平成28年受賞

平成28年11月、東京大手町KKRホテルに於いて第26回電友会ボランティア活動を頂きました。受賞の理由は「軟式野球を通じてスポーツ振興」でした。

全国の仲間が、それぞれの地域でいろんなボランティア活動をされていることに大きな驚きと感動を覚えたのを思い出します。「自閉症協会での活動」「日本大道芸で笑いの慰問」「草笛吹奏」「視覚障がい者伴奏」「蕎麦打ち技術で地域振興」「郷土史研究と地域ボランティア」など、多岐に渡り地域貢献されていきました。

この受賞は、その後の活動に大きな自信と後押しとなり今日まで活動を続けることができています。

そして、7年が過ぎ新型コロナやウクライナ情勢など世界が大きく変わり暗いニュースの毎日ですが、子供達がスポーツや文化を自由に楽しめる日々がいつまでも続くことを願いつつ、これまでと変わりなく頑張っただけでいいと思っています。

◇ 谷 律枝（土佐清水市）平成29年受賞

私は平成29年に「図書館と子供達のつなぎ役」でボランティア活動賞に選んで頂きました。

た。東京での受賞式に一人で出席するのは不安だったのを思い出します。

退職後の生きる張り合いを見つけられた事の一つが人形劇でした。

「ぐへま座」では週1回、気の合う仲間が集まり人形作りや操り方、台詞の練習などを続けてきました。これまでは年間10回位の公演を受け活動していましたが、ここ2〜3年はコロナ禍で減少して、子供達の顔が見られないのが淋しいです。自分達の元気なうちに再開できることを願っています。

◇ 岸 原子（石井町）平成30年受賞

変わらぬ日々をおくっています

今年も暑さの厳しい夏でした。コロナも共に乗り切ることができました。

緑綬褒章を頂いてから6年、電友会ボランティア活動賞から5年の歳月が経とうとしています。早いものですね。手・足の不自由さは徐々にですが進んではいますが、心と体元気です。現在もボランティア活動は現役です。

点字図書館には音訳ボランティア友の会（会員数80名位）というのがありますが、会長を努めさせて頂いています。勉強会の企画を担当、司会をしたりなど様々な行事があり、相談を受けることも仕事の一つ、肝心な

ことは読むこと。徳島市広報の他、石井町。それに録音図書製作、これが本来の仕事です。

その上に、週4回のリハビリ、家事全般、料理も作ることも楽しんでます。結構忙しい毎日を過ごしていますが、仲間達にも随分支えて貰っています。

◇ 福田 トミ子（大洲市）令和1年受賞

3年前、おこがましくもボランティア表彰を受賞し、会員の皆様にも支えられ、コロナ禍で活動しております。

子供食堂については地域の仲間・社協・企業・自治会・学校等。最近、ライオンスクラブ様からも支援の輪が広がっています。

すべての子供が当たり前に食事ができる居場所がどこにでもある日を目指し、協力者の方々に感謝し、今後も活動します。

先日、通学路の畑にコスモスの種を蒔きました。3カ月後に一斉に美しい花が咲いてくれるか楽しみです。

皆様どうかお元氣でお過ごしください。

◇ 田中 一郎（佐川町）令和1年受賞

電友会会報創刊200号記念誌へ投稿の依頼がありました。

令和元年皇居の見えるKKRホテル東京に



於いて、第29回電友会ボランティア活動賞の表彰式が行われ全国36名の方々と共に電友会会長から名誉ある表彰状を頂きました。

高知県電波適正利用推進員会長として、長年電波障害対策や電波障害周知啓発活動、各地での電波教室開催活動また、地元NPO法人理事として地域活性化活動、自主防災会活動等が評価されての表彰と思います。

私は今治局採用で多くの無線、搬送、機械の先輩達に育てられ、四国ネットワーク支社

当時も小田会長はじめ多くの先輩、仲間達に職場や飲み会で懇意にさせて頂き本当にありがとうございました。

楽しかった愛媛での思い出を四国電友会記念誌発行の機会をお借りして、遅くなりませんが四国の皆様方に感謝申し上げます。

◆ 竹田 廣見 (松山市) 令和2年受賞

この度、保護司としてのボランティア功労賞を頂きました。沢山の方々に支援され務めを終えました。「犯罪者を更生さす」など、「自分には出来ない」と思っていました。地域の方から説得されました。

22年間の更生保護活動を、これからの高齢化社会に生かしたいと思い、福祉の専門大学に通っています。80才で、若い生徒と机を並べ孤軍奮闘しています。

体が動く間、頑張りたいと、今日もカバンを背負い電動自転車で我が家を後にしています。

◆ 國弘 昭 (高知市) 令和2年受賞

私達ボランティアNTT高知OB会は、令和2年11月、長年の活動に対して電友会本部より表彰されました。

今、ボランティア活動を通じて、私が一番感じていることは、NTTOBの仲間の絆の

深さです。特にOB会は職場を離れても連絡を取り合い、酷暑の中でのアシサイ剪定、寒風吹きすさぶ中での高齢者施設の車椅子清掃などで、今後とも地域の皆様感謝される活動を明るく・楽しく・元気よくをモットーに継続していきたいと考えています。

◆ 吉岡 隆 (松山市) 令和3年受賞

会報200号おめでとございます。電友会本部のボランティア活動表彰を頂いた「チョイソコひさえだ」は毎日(月々金)平均で17名の利用があり、地区のチョイとした足代わりとして重宝されています。

運営資金の捻出に苦労しながら「ありがたい」「毎日の買物やら通院になくはならないもの」との利用者の声に押されながら事業継続に努めています。

評判を聞いて市内他地区での事業展開も始まっています。

電友会ボランティア活動功労賞受賞者

◆ 西川 晴 (松山市) 平成29年受賞

電友会活動功労賞受賞時の思い出
会報200号おめでとございます。51年もの長きに亘り継続して発行に務められた関

係各位に敬意を表します。

さて、私は平成29年度第3回「電友会ボランティア活動功労賞」を受賞して頂いた時の思い出を200号記念の投稿とします。

平成29年11月24日開催されたボランティア表彰会場へ東京駅から皇居までの道路両側のイチヨウ並木の黄葉に目を奪われながら行きました。

全国各地のボランティア活動の発表を聞き、感心するのみでした。

折角、東京に來たので、翌日に日比谷にある元電電公社本社ビルを建築関係の仕事をしていたことから見学に行きお話しすると、当ビルの撤去の話が出ていると聞き少し残念な気持ちになったことを思い出しました。(電電公社本社ビルは現在撤去済みになっているそうです)

◆ 安達 裕昭 (香美市) 令和3年受賞

平成16年に電友会の活動に関わってから18年が経過しました。来年はとうとう「80歳の壁」を迎えます。

昨年には思いがけず「電友会ボランティア活動功労賞」を頂きました。皆様方のおかげと感謝しています。ありがとうございました。これからも電友会活動が明るく楽しい活動

となるよう、微力ながらお手伝いできればと思っていますので、今後ともよろしく願います。

我が青春、吉田拓郎が引退を表明しました。6月に発売されたラストアルバム「号面白かった」のCDをしみじみと聴きながら、追っかけの日々を思い浮かべ感傷にふけています。

サークル活動代表者

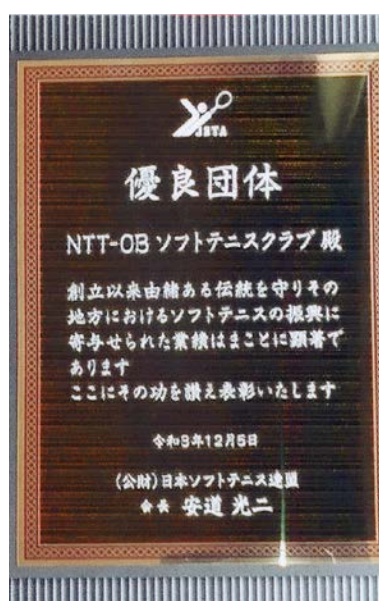
◆ ソフトテニスクラブ(愛媛)小野 芳春

サークル活動と楽しい思い出

NTT-OBソフトテニスクラブは、長年の地方におけるソフトテニスの振興に寄与したことが認められ、昨年、日本ソフトテニス連盟より「優良団体表彰」を受けました。これは創部以来、諸先輩方の地道な努力の賜物です。ソフトテニスを通して技術・体力の向上とクラブ員相互の親睦を図り、シニアや女性の指導、育成を継続しています。

一方、中でも楽しい思い出は、NTTのソフトテニス全国大会の参加です。四国チームとして奈良、広島、佐賀などへ遠征してきました。皆さんと車に分乗しながら、各地へ足を運んだのです。大会では全国の仲間とゲームを戦い、再会を喜び酒を酌み交わしてきました。

た。試合に負けても景品の出る「夜のジャンケン大会」に強いのが我が四国チームでした。残念ながら松山の大会を最後にこの大会は幕を閉じましたが、本当に楽しい大会でした。これからも生涯スポーツとしてソフトテニスを楽しもう。



◆ 新居浜岳風 (愛媛) 坂本 浩

私達は、詩吟サークル「新居浜岳風会松原支部」として、詩吟を楽しんでいます。電電公社時代に新居浜局で勤務し、交換手と、その保守をしていた友人と、その友人達です。

現在、詩吟は毎週1回練習に励んでいます。そして、新居浜市主催の春・秋の文化祭や吟友連盟の吟詠大会に出席して、楽しく活躍しております。

週1回の練習の合間には、色々と家庭の状況や、その当時いた人達の情報収集の場とな

り、懐かしく楽しく過ごしています。

◇ 写友会（愛媛）

竹内 弘征

会報200号達成おめでとうございます。写友会会員も表紙写真で何号かに参加させて頂きましたが、資料収集、編集、印刷、会員への発送など地道な作業の積み重ねの結果です。関わった皆様ご苦労さまです。

さて、フォトクラブ「写友会」を平成6年5月1日、NTT・G・OBフォトクラブとしてスタートから28年。会員は21名（うち女性3名）でした。

発足して第1回目の撮影旅行は、高知県の四万十川とトンボ公園でした。その後も会員及び会員の家族や友人が参加しました。その後何度かは家族の参加もありアットホームな雰囲気の中撮影会を実施しました。

会員の最大の目標は「いい写真」を撮ることでありますが、もう一つの楽しみは懇親会です。例会終了後の一杯。一泊二日の旅先での美酒の楽しみ、何ものにも代えがたいものでした。（下戸の私は恩恵に浴していません？が・・・）

しかし、楽しい時ばかりではありませんでした。2ヶ月に1回の例会をどこでするか、会場探しが大変でした。当初はテルウエルの

会議室や食堂の片隅を利用して頂きましたが、後輩達が働いている時間帯にOBの私達が例会をすることの心苦しさが付きまわって来ました。そのうち建物のセキュリティ対策強化もあり、使用しづらくなり、会場を転々とする状況が続きました。

現在は愛媛電友会事務局の作業スペースを借用して、やっと落ち着いて例会が出来るようになりました。作品の発表も年1回いよつ高島屋南館「ふれあいギャラリー」を使用して実施し、19回目を迎えました。

ただ、残念なことはこの2年間はコロナ感染症拡大によって、会員相互のコミュニケーションの機会が作れないことです。現会員は11名、平均年齢78才と高齢化しています。是非とも若いエネルギーの参加をお待ちしております。

◇ 社交ダンス愛好会（愛媛）

村上 勲

社交ダンス愛好会の現状と面白い社交ダンス愛好会は、平成2年8月に発足し、NTT・OBの五藤哲雄さんが会長兼講師として指導してきました。平成29年3月健康上の理由から要職を辞退されるまで実に27年間にわたりサークルの育成に尽力されました。その後も体調に合わせ指導が続き現在で

32年余りの歴史を重ねてきました。

最近の2～3年間は、新型コロナウイルス感染症が社会全体に大きな影響を与え、現在の会場である「松山市畑寺福祉センター」でも、県や市の方針を受け新型コロナウイルスの感染拡大防止の立場から、長期にわたる休館や当方の自主的判断による休みも含め細々と練習に励んでいる状況です。（週1回土曜日午後）

社交ダンスの醍醐味はダンスパーティーで踊ることです。毎年のように実施していた「クリスマスパーティー」特に女性の皆さんはドレスアップして会場に華を添えます。二人で踊る華麗なステップは私達の夢の夢です。

◇ カラオケサークルすずめの学校（愛媛）

岩佐 義隆

四国電友会会報200号の発行おめでとうございます。

記念誌ということで、サークル立上げからご尽力された前事務局長の岡村純雄様に「すずめの学校の歩み」として、思い出等について投稿をお願いしました。以下岡村様からの投稿です。

カラオケサークル「すずめの学校」の歩み
電友会のパソコン教室（講師：故竹内主計）

の水曜日学級で、エクセルやワードの習得に悪戦苦闘していた十余人の仲間のうち、カラオケを趣味の一つとしている者が7〜8人も居ることが判明し、2010年（H22）自然にカラオケサークル結成へと発展して行きました。

例会は、月1回。市内のカラオケ店へ集まり行いました。サークル名「すずめの学校」は、文字どおり、「ピーチク・パーチク」囀る雀にあやかること満場一致。

サークルの初代会長には、パソコン教室の3時のお茶の時間、電友会の事務所へ度々、銘菓を持参してくださる三美孝雄さん（H26.8死去）にお願いをしました。

決して、海老で鯛を釣ったわけではありません。三美さんご自身美声の持ち主で、北京町ではいつもマイクを手にしていたからです。

あれから8年、三美孝雄（H26.8死去）さんも黄泉の人となり、現在は、一昨年発生した新型コロナウイルスの感染拡大により例会の開催はできませんが、再び囀る日の来ることを待ち望んでおりまゝ以上、岡村純雄様からの投稿です。

現在は、池田恵美子さんが3代目会長、会員数約20名、月例会は松山駅前キスケ「K1」ですが、残念ながらコロナで約2年間例会は開催できず、すずめの泣き声は嘆きのメ

ロディーとして、「も〜い〜いコロナ（頃な）」と諦めに近い叫び声に聞こえそうです。早く皆に会いた〜い！ 歌いた〜い！！

◆ 硬式テニスクラブ（愛媛） 平尾 健司

当サークルは、平成10年に安部孝会長のもと、親睦と健康維持を目的に15名の仲間ですタートし、はや24年が経過しました。

（R3年濱崎が二代目会長を引き継ぎ）現在会員数は21名で活動中です。

サークル運営は、松山地域を主体に、現役社員の参加も考慮して、毎週土日（祝日含）

の午後を中心に空港、道後姫塚コートで例会を（基本練習と試合）開催するほか、個人で週日にサークル以外のメンバーと練習するなど、四季を問わず年中休み無しの元気者もいます。

メンバー全員が集合しての練習試合や親睦

会は、コロナ禍のため我慢の日々が続いています。当サークルのモットーは楽しむこととストレス解消ですが、対外試合で全国及び県市内の各種大会で優勝するなど冠たるNTTの社名研磨に努めています。

心身の健康と親睦をめざして、皆様の参加をお待ちしています。

連絡先：平尾（090-4977-2071）

◆ 日尾クラブ（愛媛） 野本 俊夫

日尾クラブの世話人代表を受け継いで、4年目になります。主な年間行事として、新年会・総会・講演会・観劇、そして近況を会員の皆様にお知らせする「回覧ノート」等の活動を行っています。（コロナの影響で2年間は活動を中止）

電友会の本部長、事務局の皆様には活動中止にもかかわらず、ご支援を賜り本当に感謝しております。コロナ終息時には、各種行事が開催されることを、心から願っている今日



この頃です。

◆ ヨガサークル (愛媛) 柳原 寛信

四国電友会会報200号おめでとござい
ます。

創刊から51年をかけて200号を迎えられ
たことは、会報に携われた沢山の方々の努
力に敬意を表します。

さて、私達のヨガサークルは今年で10年目
を迎えます。

ヨガ教室は毎週1回月曜日に行い、会員数
は21名でヨガ会場はOBサロンで行っていま
す。教室の参加者はスタートから5年間迄は
年間350名〜440名(1回あたりの参加
数が7〜8名)でしたが6年目以降は会場が
使えなくなったことやコロナ感染拡大による
会場閉鎖もあって参加数は減っています。

しかしメンバー各位はヨガによる効能(体
の奥のインナーマッスを鍛えるので、歪ん
だ背骨や骨盤などの骨格が筋肉にしっかり支
えられるようになり、それにより身体の歪み
を改善し、姿勢を正す効果が期待できます。
さらに、筋肉を柔らかくしたり、伸ばしたり
して柔軟性を養うこともできると言われてい
るのです)を先生からの教えて頂いているの
で、早くコロナが終息し元のようなヨガ教室

が出来ることを願っています。

そして電友会会報にもサークル活動状況を
投稿していきたいと思っています。



◆ 囲碁同好会 (香川) 鴨谷 壽章

四国電友会会報200号おめでとございま
す。

囲碁同好会の現状はコロナ以後の活動は低
調となっています。10年程までは囲碁は盛ん
であり、OBの全国大会も開催されていま

た。会員の高齢化と共に会員数が減少してい
ましたが、月1回の囲碁大会を定期的に関
していました。

コロナ流行と共に増々低調化し、特に今年
になり会場としているNTT香川支店OBサ
ロンが閉鎖されて囲碁大会は開催していま
せん。同好会の存続が危ぶまれます。

ここ数年は仲間との懇親会もなく、ザル碁
でのポケ防止もできない等々暗い事ばかり。
高齢者にとつてのウイズコロナとは?元気の
出ることを何か見つけて明るく楽しく残り少



ない余生を送りたいものです。

◆ 瀬戸内美術クラブ(香川) 川北 昭子

「四国電友会会報」200号を迎え、お祝い申し上げます。

2016年3月に「絵を描くこと」により、退職者の親睦と老後を楽しく生きがいのあるものに」を基本に「瀬戸内美術クラブ」が発足しました。

香川県域では一番新しいサークルですが、これまでの活動を報告します。

作品展はNTT香川支店の近くの喫茶店をお借りして開催してきました。最終日には、軽食を挟んで反省会になります。

作品展では、懐かしい先輩OBや現役の社員、派遣の方達等、一緒に働いた多くの方が鑑賞に来てくださり、懐かしい話や近況報告等で大変盛り上がります。

また、何十年ぶりの小学校の同級生とはミニ同窓会と化し、サークルで描く楽しみだけでなく、懐かしい方たちと会えるのも大きな楽しみです。

絵画クラブでは、よく美術館や個人展に鑑賞に行き、帰りは喫茶でおしゃべりです。一人前の評論家気取りで、あれこれ話し出すと時間を忘れるほどです。

スケッチも庵治湾から見る五剣山はアマチュア画家たちの隠れたポイントであり、大

正時代の文化財に指定された建物なども、遠足気分の一日になります。

新型コロナウイルスが終息すれば、これまでのようにお喋りしながら、和気あいあいとサークル活動を楽しみたいと思います。



◆ 亀友会ハイキンググループ(香川) 土井 富夫

四国電友会会報200号発行おめでとうございませう。会報の中で特に「私は今」のコーナーでは先輩たちのお元気な姿が出ている時は懐かしく読ませて頂いています。

今は亀友会ハイキンググループの世話役をやらせていただいていますが高齢化が進み会員数も年々減っています、コロナの関係でここ2、3年は活動を中止していましたが久しぶりに近場の四国水族館に行ってきました。毎年10回の行事を実施してきましたが、会



員数と参加者の減少に伴い年10回を奇数月のみ実施しその他の月はNTTサロン室に集まってお茶会を実施する事にしました。
私事ですが最近膝痛に悩まされて病院通いをしていました。周りの人に聞いてもそういう人が多くて今後行事計画をする時は歩き中心からグルメ中心に変更しようと思っっています。

電友会の皆様のご健康を祈っています。

◆ 八一会 (香川) 香西 康伸

この度、『電友会会報誌』記念すべき200号発刊を迎えられたことを心より喜び申し上げますとともに、200号定期発行に携わってこられた多くの諸先輩方のご苦労にただただ敬服するばかりです。

私も「香川電友会八一会ゴルフサークル」はゴルフを愛し、ゴルフを楽しみ、会員相互の親睦と健康増進を図る目的で、1981年(昭和56年)に発足以来、42年間継続を重ねております。現在会員数67名(平均年齢74才)、毎年2月と8月を除く県内5カ所のゴルフ場で季節の移り変わりを感じながら例会を開催しております。毎回40名程度の会員が参加し、「怪我せず楽しくプレー」することをモットーに、各自それぞれのスタイルで熱戦を繰り広

げております。

今後の「八一会」の目標は人生100才時代、会員の高齢化が進む中、サークル創設50年を目標に更に頑張っていきたいと思いま



す。

最後になりましたが、電友会会報誌の更なる発展と編集関係委員様のご多幸、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。会報誌200号記念誌におめでとございます。

◆ NTT徳島OB健歩会 (徳島)

小川 武男

平成28年4月からサークル「NTT徳島OB健歩会」会長の重責を任されていますが、今振り返ってみますと、良いサークルに入っただとの思いで一杯です。

楽しい仲間達、ステキな先輩・同僚・後輩と一緒に毎月1回、徳島県内各地や隣の県まで足を延ばしての、おしゃべりとウォーキング、お楽しみの昼食時クーラーに入れた飲み物を楽しみ、一段と話が弾むひと時を過ごし、次回の事業の確認後帰路に着く毎月を送っております。

◆ ゴルフクラブ八〇(パーゼロ)会 (徳島)

吉田 正治

モスクワオリンピック開催(日本他50カ国がボイコット)。山口百恵が友和と結婚、引退。巨人ファンの王貞治が現役引退。これが1980年で、この年に「八十才までゴ

ルフを続けよう」と「八〇会」が発足しました。

今は会員50名弱、常時参加者は20人前後と少なくなりました。80才代の5名が常時元気に参加盛り上げてくれています。暑い寒い、雨降関係なく、毎月定例会を開催し、今年2月に500会記念大会を開催しました。

次の目標は、600会大会に全員元気で参加することです。

◆ 民謡すみれ会（高知） 山崎 禎子

会報200号おめでとございませう。

NTTを退職して22年目が来ようとしています。退職後は老人道まっしぐらと思っています。またが、OBネットの世話人、また電友会の幹事を18年、その間副会長を2期、そして会報の編集委員等、おかげさまでボケ防止にずいぶんと役立ったと思っています。

昨年幹事を引退し、コロナ禍、自宅に閉じこもりがち、お出掛けは、ほとんど病院。それでもお楽しみは近所の奥様方とのお茶会、女子会のおしゃべりは2時間。あつという間に時は過ぎます。

早くコロナが終息して、県外にいる孫やひ孫達に会いたいし、ただいま休眠中の民謡クラブの再開、お稽古の後の居酒屋で一寸一杯、

おしゃべりをしたり歌ったり、そんな日々が一日も早く来る日を待ち続けています。



《お茶会の準備》

◆ 囲碁クラブ（高知） 並川 匡邦

「高知囲碁クラブ」は昭和63年10月に発足し、今年で34年になります。

コロナ禍で例会は休会が続いてヤキモキしています。

平成10年頃のNTT高知プラザで開催した「第4回OB囲碁サークル四国大会」の写真を見つけました。各県参加者40名程度が写っています。古き良き時代ですね。

早くコロナが収まり、OBサロンで満席の例会が開催できることを夢見ています。



年譜（電友会四国地方本部役員年譜）

	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54
本部長	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎
副本部長	愛媛	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正
	香川	猪谷 義夫	猪谷 義夫	猪谷 義夫	猪谷 義夫	猪谷 義夫	池田 清澄	池田 清澄	池田 清澄
	徳島	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男
	高知	小島 諫	小島 諫	小島 諫	小島 諫	小島 諫	小島 諫	長崎 輝喜	長崎 輝喜
理事	愛媛	毛利 正雄	毛利 正雄	毛利 正雄	友沢 照一	友沢 照一	友沢 照一	友沢 照一	友沢 照一
	香川	増田 鉄雄	増田 鉄雄	増田 鉄雄	香川 洋一	香川 洋一	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄
	徳島	越久田保之	越久田保之	越久田保之	越久田保之	越久田保之	越久田保之	越久田保之	越久田保之
	高知	長崎 輝喜	長崎 輝喜	長崎 輝喜	長崎 輝喜	長崎 輝喜	長崎 輝喜	大西 正澄	大西 正澄
四国事務局長	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	
各県事務局長	愛媛	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	高市 沖見
	香川	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	久米 実	久米 実
	徳島	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可
	高知	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	小松 俊美	小松 俊美	小松 俊美

	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63
本部長	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	泉 節太郎	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正
副本部長	愛媛	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	赤刎 正	六車 美一	六車 美一	六車 美一
	香川	池田 清澄	池田 清澄	池田 清澄	池田 清澄	池田 清澄	横井 秀夫	横井 秀夫	横井 秀夫
	徳島	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	豊崎二三男	越久田保之	越久田保之	賀川 明孝
	高知	長崎 輝喜	長崎 輝喜	長崎 輝喜	長崎 輝喜	長崎 輝喜	大西 正澄	大西 正澄	大西 正澄
理事	愛媛	友沢 照一	友沢 照一	友沢 照一	友沢 照一	友沢 照一	菅 優	菅 優	菅 優
	香川	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄	喜田 鎮雄
	徳島	越久田保之	越久田保之	越久田保之	越久田保之	越久田保之	森田 利男	森田 利男	地行 祐助
	高知	大西 正澄	大西 正澄	大西 正澄	大西 正澄	大西 正澄	井上 広次	井上 広次	井上 広次
四国事務局長	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	井川 大吉	井川 大吉	
各県事務局長	愛媛	高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見
	香川	久米 実	清水 健市	清水 健市	清水 健市	清水 健市	清水 健市	清水 健市	清水 健市
	徳島	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可
	高知	小松 俊美	安藤 保	安藤 保	安藤 保	安藤 保	安藤 保	安藤 保	安藤 保

	H01	H02	H03	H04	H05	H06	H07	H08	H09
本部長	六車 美一	六車 美一	六車 美一	六車 美一	六車 美一	六車 美一	六車 美一	西本寿恵一	西本寿恵一
副本部長	愛媛 菅 優	菅 優	西本寿恵一	西本寿恵一	西本寿恵一	西本寿恵一	西本寿恵一	加藤 省三	中井 正明
	香川 横井 秀夫	宮下 義朝	宮下 義朝	宮下 義朝	宮下 義朝	宮下 義朝	森川 清和	森川 清和	森川 清和
	徳島 賀川 明孝	賀川 明孝	賀川 明孝	賀川 明孝	賀川 明孝	賀川 明孝	賀川 明孝	賀川 明孝	賀川 明孝
	高知 大西 正澄	大西 正澄	大西 正澄	大西 正澄	野村 大蔵	野村 大蔵	野村 大蔵	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫
理事	愛媛 西本寿恵一	西本寿恵一	加藤 省三	加藤 省三	加藤 省三	加藤 省三	加藤 省三	中井 正明	阿部 孝
	香川 喜田 鎮雄	原 清司	原 清司	原 清司	原 清司	森川 清和	清水 健市	清水 健市	清水 健市
	徳島 地行 祐助	地行 祐助	地行 祐助	地行 祐助	西岡 慶文	西岡 慶文	西岡 慶文	河野 幸雄	河野 幸雄
	高知 井上 広次	井上 広次	野村 大蔵	野村 大蔵	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	岡林 圭一	岡林 圭一
四国事務局長	井川 大吉	井川 大吉	井川 大吉	井川 大吉	井川 大吉	井川 大吉	井川 大吉	井川 大吉	愛原 章
各県事務局長	愛媛 高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見	高市 沖見	愛原 章	愛原 章	愛原 章	愛原 章	松本 良雄
	香川 清水 健市	清水 健市	清水 健市	鹿庭 英世	鹿庭 英世	鹿庭 英世	鹿庭 英世	鹿庭 英世	鹿庭 英世
	徳島 把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可	把握不可
	高知 安藤 保	安藤 保	安藤 保	安藤 保	安藤 保	武田 勝定	武田 勝定	武田 勝定	武田 勝定

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
本部長	西本寿恵一	西本寿恵一	西本寿恵一	芳野 暉	芳野 暉	芳野 暉	芳野 暉	芳野 暉	栗田 和夫
副本部長	愛媛 中井 正明	阿部 孝	阿部 孝	白石 春三	白石 春三	田中 一馬	田中 一馬	田中 一馬	田中 一馬
	香川 森川 清和	森川 清和	森川 清和	森川 清和	森川 清和	資延 隆	資延 隆	資延 隆	資延 隆
	徳島 賀川 明孝	河野 幸雄	河野 幸雄	旭野 明	旭野 明	旭野 明	旭野 明	旭野 明	旭野 明
	高知 楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	楠瀬 邦夫	徳廣 孝敏	徳廣 孝敏
理事	愛媛 阿部 孝	芳野 暉	芳野 暉	藤本 迪雄	藤本 迪雄	藤本 迪雄	藤本 迪雄	栗田 和夫	仲神 徳彦
	香川 清水 健市	鹿庭 英世	鹿庭 英世	鹿庭 英世	鹿庭 英世	中山 忠彦	中山 忠彦	中山 忠彦	村上 嘉昭
	徳島 河野 幸雄	旭野 明	旭野 明	谷 精	谷 精	藤丸 浩史	藤丸 浩史	藤丸 浩史	藤丸 浩史
	高知 岡林 圭一	岡林 圭一	岡林 圭一	岡林 圭一	岡林 圭一	窪田 剛介	窪田 剛介	末永 雄一	農本 芳正
四国事務局長	愛原 章	松本 良雄	松本 良雄	松本 良雄	稲毛 文夫	稲毛 文夫	稲毛 文夫	小澤 洋	小澤 洋
各県事務局長	愛媛 松本 良雄	村尾 守康	村尾 守康	小原 順一	小原 順一	小原 順一	松澤 通忠	松澤 通忠	松澤 通忠
	香川 鹿庭 英世	秋山 禎造	秋山 禎造	秋山 禎造	秋山 禎造	秋山 禎造	秋山 禎造	二川 俊昭	二川 俊昭
	徳島 若江太三郎	若江太三郎	若江太三郎	若江太三郎	合田勢津子	合田勢津子	合田勢津子	合田勢津子	合田勢津子
	高知 武田 勝定	武田 勝定	武田 勝定	武田 勝定	宮本潤一郎	宮本潤一郎	宮本潤一郎	宮本潤一郎	宮本潤一郎

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
本部長	栗田 和夫	栗田 和夫	栗田 和夫	栗田 和夫	栗田 和夫	栗田 和夫	栗田 和夫	小田 尚見	小田 尚見
副本部長	愛媛 仲神 徳彦	仲神 徳彦	仲神 徳彦	室田 浩志	室田 浩志	高橋 明	高橋 明	高橋 明	依光 俊一
	香川 資延 隆	資延 隆	資延 隆	村上 嘉昭	村上 嘉昭	村上 嘉昭	村上 嘉昭	二川 俊昭	二川 俊昭
	徳島 雲財 亘	雲財 亘	雲財 亘	雲財 亘	雲財 亘	元木 利之	元木 利之	元木 利之	元木 利之
	高知 中西 正弘	中西 正弘	中西 正弘	中西 正弘	中西 正弘	森澤 義弘	森澤 義弘	森澤 義弘	森澤 義弘
理事	愛媛 室田 浩志	室田 浩志	室田 浩志	高橋 明	高橋 明	高木 道也	高木 道也	高木 道也	井ノ口和子
	香川 村上 嘉昭	村上 嘉昭	村上 嘉昭	岡 正之	岡 正之	岡 正之	大路 大幸	大路 大幸	大路 大幸
	徳島 元木 利之	元木 利之	元木 利之	元木 利之	元木 利之	藤丸 浩史	藤丸 浩史	藤丸 浩史	藤丸 浩史
	高知 農本 芳正	糸川 好一	糸川 好一	糸川 好一	糸川 好一	刈谷志毛雄	刈谷志毛雄	刈谷志毛雄	刈谷志毛雄
四国事務局長	小澤 洋	小澤 洋	小澤 洋	小澤 洋 有田 卓美	有田 卓美 木田 誠剛	木田 誠剛	木田 誠剛	木田 誠剛	木田 誠剛
各県事務局長	愛媛 有田 卓美	有田 卓美	有田 卓美	有田 卓美	柳原 寛信	柳原 寛信	柳原 寛信	柳原 寛信	柳原 寛信
	香川 二川 俊昭	朝倉 直次	朝倉 直次	朝倉 直次	朝倉 直次	朝倉 直次	朝倉 直次	朝倉 直次	朝倉 直次
	徳島 合田勢津子	合田勢津子	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬
	高知 宮本潤一郎	宮本潤一郎	宮本潤一郎	足達 裕昭	足達 裕昭	足達 裕昭	足達 裕昭	足達 裕昭	足達 裕昭

	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04		
本部長	小田 尚見	小田 尚見	小田 尚見	小田 尚見	小田 尚見	小田 尚見	小田 尚見		
副本部長	愛媛 依光 俊一	依光 俊一	依光 俊一	黒石 敬博	黒石 敬博	黒石 敬博	黒石 敬博		
	香川 二川 俊昭	大西 宏	大西 宏	大西 宏	大西 宏	大西 宏	大西 宏		
	徳島 元木 利之	植田 忠生	植田 忠生	植田 忠生	三馬 定芳	三馬 定芳	三馬 定芳		
	高知 井上 淳介	井上 淳介	井上 淳介	井上 淳介	井上 淳介	井上 淳介	井上 淳介		
理事	愛媛 井ノ口和子	井ノ口和子	井ノ口和子	井ノ口和子	井ノ口和子	木田 誠剛	木田 誠剛		
	香川 大路 大幸	上枝 文敏	上枝 文敏	上枝 文敏	井上 正廣	井上 正廣	井上 正廣		
	徳島 藤丸 浩史	三馬 定芳	三馬 定芳	三馬 定芳	谷藤 隆	谷藤 隆	谷藤 隆		
	高知 氏原 功	氏原 功	氏原 功	氏原 功	氏原 功	氏原 功	氏原 功		
四国事務局長	木田 誠剛	木田 誠剛	木田 誠剛	木田 誠剛	木田 誠剛	渡辺 隆司 木田 誠剛	柳原 寛信		
各県事務局長	愛媛 柳原 寛信	柳原 寛信	柳原 寛信	柳原 寛信	柳原 寛信	柳原 寛信	岩田 真一		
	香川 朝倉 直次	坂口 道啓	坂口 道啓	坂口 道啓	坂口 道啓	坂口 道啓	坂口 道啓		
	徳島 勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	勢井 清敬	戸川 章		
	高知 足達 裕昭	足達 裕昭	松丸 純二	松丸 純二	田所 秀二	田所 秀二	田所 秀二		

お知らせ

お詫びと訂正

会報7月号（第199号）の2ページに掲載しましたNTT支店長表彰受賞者の掲載漏れと受賞された方の名前の文字と「私は今」に投稿頂いた方のご住所に誤りがありましたのでお詫びし訂正させていただきます。
大変申し訳ありませんでした。

NTT支店長表彰受賞について

県支部	訂正内容
愛媛	訂正なし
香川	訂正なし
徳島	訂正なし
高知	誤 掲載漏れ → 正 小松 嵩敏 → 小松 崇敏

「私は今」

お名前	住所	退職年
三崎 賢紀	誤 松山市 → 正 阿南市	H10年退

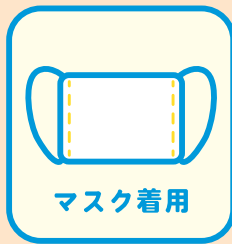
☆NTT退職者交流会中止

会報7月号（第199号）の編集後記にてNTT主催の退職者交流会について、令和4年度は開催できそうですと掲載いたしました。が、7月以降のコロナ感染拡大いわゆる第7波により、残念ながら今年度も中止になる見

込みです。
具体的な中止案内は後日NTT各支店より会員の皆さま方へ発送されますのでご理解の程よろしくお願い致します。

新型コロナウイルス
感染対策実施中

一同、細心の注意を払って
感染症対策に取り組んでおります。



みなさまの健康・安全の確保のため
ご理解とご協力をお願いいたします。

支部だより



令和4年度松山野球拳おどりに参加
(NTT四国支店)

コロナ感染の影響により、ここ2年間中止となっていた松山野球拳おどりに電友会に対して多大なご支援を頂いているNTT四国支店が3年ぶりに参加したので報告します。

今回のコロナ禍での開催のため、参加者数は従来の半分程度でNTT四国支店連は立石支店長や樋野村事業推進室長を含め総勢で59名の参加人数でした。

NTT連は8月12日の企業連9チーム参加のトップスタートで大街道から千舟町經由堀之内会場迄を約1時間かけて短時間ではあったものの練習成果を存分に発揮した見事な踊りでした。

初めて参加された立石支店長や樋野村事業推進室長にとっては、真夏のいい思い出となったことでしょう!!



《松山まつりで見事な踊りを披露》

第9回趣味の作品展開催に向けて

愛媛電友会では、8月10日(水)に第4回作品展実行委員会を開催し、9月14日(水)から18日(火)までの5日間の開催に向けた最終の委員会を行いました。

事務局より作品数が190点で前回より10点多い出展になった説明後、コロナ禍での開催のためコロナ感染対策や出展会場のレイアウト等について説明し、期間中の展示会場の当番や作品の搬入・搬出時のスタッフの願いをして開催に備えることとしました。

なお、開催期間中の来場者数については会報1月号(201号)にて報告致します。

作品の部門別応募数

作品部門	応募数	作品部門	応募数
絵画部門	26	水石部門	10
書道部門	7	アウトドア	13
陶工芸部門	17	写真部門	75
絵手紙部門	11	子供作品	1
手芸部門	7	その他	23
合計		190	



「ボランティアNTT高松OB会」

解散のお知らせ

平成3年8月に有志100名により結成した「ボランティアNTT高松OB会（現会員数・32名）」は、令和4年6月30日(木)を持って31年の歴史に幕を閉じ解散を致しました。

長らくボランティア会員の皆様にはNTTに対する支援・協力活動として社会環境に影響するNTT公衆電話ボックスのピンクペラ除去や「環境クリーン作戦in峰山」に参加されるとともに特別養護老人ホームのイベントの手伝いやJR高松駅周辺のタバコ吸殻等ゴミ拾いにご奉仕いただきまして有難うございました。

なお、解散に当たっては残っていました活動資金を香川電友会の財政逼迫の一助になればと香川電友会へ引き継ぎました。

ボランティア会員各位の今後のご健勝とご多幸をお祈りします。

「ふるさとを歩く会」

解散のお知らせ

平成4年4月に発足した「ふるさとを歩く会（現会員数・71名）」は、令和4年6月27日(月)を以って30年の歴史に幕を閉じ解散しました。

コロナ禍により令和2年度定期総会の延期以来、活動再開の機会を探って参りましたが、コロナ禍終息の見通しがたらず、その間に会員の高齢化も進み、活動再開は困難となりました。

会員の皆様には定期総会や例会行事に参加いただき、長らく「ふるさとを歩く会」の運営にご協力いただきまして有難うございました。

なお、解散にあたっては、残っていた会費を商品券にて会員の皆様に分配致しました。

最後になりましたが、「ふるさとを歩く会」会員各位の今後のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。




<イベント情報>

■電友会イベント

	10 月	11 月	12 月	第4四半期
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> 会報200号配布 愛媛ボランティア活動表彰(10月予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 親睦旅行 (コロナ禍により中止) 本部ボランティア活動表彰式(11/16) 令和4年度地域交流会(検討中) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境クリーン作戦 In 道後(12月上旬) 親睦ゴルフ大会 (コロナ禍により中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局長会議 (2月予定) 編集委員会 (2月予定) OB交流会(未定)
香 川	<ul style="list-style-type: none"> 会報200号配布 			<ul style="list-style-type: none"> 会報201号配布
徳 島	<ul style="list-style-type: none"> 10月号会報発送 (手配り実施 コロナの状況を見て) N T T アドプトプログラム吉野川(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 日帰り旅行中止 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会 趣味の作品展検討等 	<ul style="list-style-type: none"> 退職者説明会(2月) サークル代表者会議
高 知	<ul style="list-style-type: none"> 10月号会報手配り (10/15~20) 観光開き清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 帯屋町シンボルロード花壇整備 OB旅行(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 文化講演会、忘年会 (検討中) 車椅子清掃(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 5役会、役員会 編集委員会 1月号会報発送 観光開き清掃

■地域イベント

	10 月	11 月	12 月	第4四半期
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> ①松山秋まつり (10/5~10/7) ②西条まつり (実施予定) ③新居浜太鼓まつり (実施予定) 			<ul style="list-style-type: none"> 第60回愛媛マラソン (1/16)
香 川	<ul style="list-style-type: none"> 高松市菊花展競技会 (10/20~11/20) 〈高松城跡玉藻公園〉 丸亀城菊花展 (10/21~11/13) 〈丸亀城内〉 宇多津秋祭り (10/22~10/23) 〈宇夫階神社〉 	<ul style="list-style-type: none"> 銭形砂絵「寛永通宝」 砂ざらえ(未定) まんのう公園ウィンターファンタジー (11/26~1/9:予定) 		<ul style="list-style-type: none"> 引田ひなまつり (2/下~3/上) 宇多津の町家と雛祭り (3/上)
徳 島		<ul style="list-style-type: none"> 秋の阿波おどり ~阿波おどり大絵巻~ 11月5日(土)・6日(日)の 2日間、入場無料 徳島市山城町東浜傍示1-1 アスティとくしま 		<ul style="list-style-type: none"> 四国酒まつり 2023年2月25日(土) 阿波池田商工会議所
高 知	<p>■高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」『あなたの、新休日。高知』として、高知県内各地で開催中 9/23~11/26は『仁淀ブルー体験博』 仁淀川流域6市町村で多彩な53プログラムをご用意！ 詳細は公式ガイドブック(こうち旅広場や各観光施設などで配布)、県庁ホームページなどでご覧下さい</p>			
	<p>■JR四国観光列車「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」10~12月の予定 土讃線 高知駅~窪川駅間 土~月曜・休日(一部除く)中心に運行 ごめん・なはり線 高知駅~奈半利駅間 12/23までの毎金曜日に運行</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> 越知町コスモスまつり 越知町宮の前公園 (10/7~16) 	<ul style="list-style-type: none"> 大川村謝肉祭 大川村朝谷さんそん 広場(11/3) 		<ul style="list-style-type: none"> 高知龍馬マラソン 2023 高知市など(2/19)

	10 月	11 月	12 月	第4四半期
高 知	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十川ウルトラマラソン 四万十市&四万十町(10/16) ・土佐の豊穰祭2022 ／物部川会場／刃物まつり 香美市県立鏡野公園(10/15~16) ・同／嶺北会場／豊穰祭 in 嶺北 ゆとりすとパークおおとよ(10/23) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐の豊穰祭2022 ／幡多会場／マグロまつり in 大月町産業祭 大月町総合グラウンド(11/3) ・同／高知市会場／土佐國美味集結 高知市中央公園(11/5~7) ・同／高幡会場／米こめフェスタ 四万十町緑林公園(11/6) ・龍馬誕生日イベント 高知市上町・生誕地など(11/15) ・CASIOワールドオープン 黒潮カントリークラブ(11/24~27) 		
<p>クルーズ客船寄港予定(変更される場合あり)</p> <p>●高知新港</p> <p>11/20 にっぽん丸 12:00入<高知停泊></p> <p>11/21 にっぽん丸 <高知停泊> 17:00出</p>		<p>●宿毛湾港</p> <p>11/23 ぱしふいっくびいなす 8:00入 16:40出 (今回の掲載内容は9月初めに確認した情報です)</p> <p>最新情報は <input type="text" value="クルーズ船 高知県庁"/> で検索</p>		

俳句

徳島支部 (眉秋俳句会)

大住 清美

背を丸む猫の目に会う秋の朝
コスモスの群れ咲く野道喜喜として

台風風の風と遊びて出勤す
帰省の子わがまま通る夕餉かな

平井 孝子

加治 道子

棚田千枚鏡となりて桐の花

生家には背比べの疵零余子飯

堀江 邦子

(徳島俳壇入賞7月)

寝袋に寝て仰ぎ見る流星群

秋なすび勘定はやし朝市女

山田 昌代

加茂 陽子

迎え待つ園児の声や秋の蝶
旅終えし門灯のあかり九月尽

蜻蛉の遊ぶ風あり夕暮れて
深夜放送聞きつつ眠る風の夜

吉岡 由子

高木 閑人

校長の訓話簡潔夏つばめ

口笛も吹いてもみたし後の月
旅先の慣れぬ宿下駄十三夜

(徳島俳壇入賞8月)

大根畑抜けて賢治の農学校

日開 桃花

秋高し鴟尾輝ける大伽藍
内海の入日に染まる蜜柑山





☆私の退職後の過ごし方色々

石丸 博さん（松山市）

良き職場の人々に恵まれた幸せなサラリーマン生活をこの6月末で終えました。

お世話になった皆様には感謝の言葉しかありません、ありがとうございます。

さてこれから、何を楽しみに・悔いのないように・どのように生きていこうか色々考え、まずは**健康な身体づくり**のため

①禁煙（過去に禁煙外来を4回失敗し、5回目のチャレンジ（笑）をと考え病院へ行くも、治療用経口薬が出荷停止の事態と知らされる。こうなると自力で禁煙するしかない。意思の弱い私、まったく自信はないがチャレンジ中。もしかしてこの投稿が読まれる頃には浮いたタバコ代の使い道に困っているかも）

②休肝日の設定（週4日休肝日となるよう、最近すっかり美味しくなったノンアルコールビールを飲みながらチャレンジ中。お酒を飲まない夕食のおかずの量も格段に減るので、ダイエットにも期待あり。）

③運動等（できることから無理をせず、ウォーキング・スクワット・腕立て伏せなど軽いものからチャレンジ中）

次に、**趣味を広げる**ために、

①本格的な磯釣りを始める（指南役の友人に言われるままに磯釣り用の道具一式を新調、これがかなりの出費、無駄にしないためにもと、この1カ月の間で四国の西先端佐田岬半島の磯へ通うこと3回、イサキ・アジ・カワハギ・タイ等期待以上の釣果を得てドハマリ中）

②家庭菜園を始める（農地・道具類・土壌作りの肥料など必要なものは先輩にアドバイスを頂き全て準備完了。但し猛暑で身体動かず手付かず（笑）。そろそろ始動。）

③DIY（モノ作りは元々好きな方なので、退職後2作品完成、家族の賞賛に自己満足）
その他にも色々やりたいことはありますが、コロナ感染拡大の中で、やむを得ず自粛していることもあります。

退職後楽しみにしていた、友人・知人との飲み会は思うように開催できず（涙）、またラスベガスに住む次女家族にも会いに行きたけれど、今はビデオ通話（勿論日本語、金

髪の孫二人には「Z-i-i-z-i」と呼ばせてニンマリ）で我慢の日々です。
とにかく健康で笑顔の生活が送れるように、自分のできるテンポでボチボチ頑張るところにします。



《予想以上の釣果にニンマリ》

ドキュメント

☆「素晴らしき哉 NTT-OB」
オンリーワン紹介
私とクラフト紙模型の出会い

板谷 邦司さん(協町)

NTTを退職した(H17年3月)と同時に、徳島市から美馬市脇町に移り住み、もう18年になります。朝は、小鳥達のさえずりで起き、夜は虫の音で床に着くという、人との関わりの少ない山間へき地の暮らしぶりです。私の模型との出会いですが幼い頃から模型づくりに興味があり、木を削り航空機、帆船、鉄道等を余暇の時間に作っていました。繊細な作業等を行うのが好きであり、ついつい時間を忘れ、夜なべをすることも何度もあります。出来上がった模型を眺めると、自分の心の中に充実感及び達成感が生まれ、次回は何を作ろうかと思いにふけることも幾度か。

作品を繰り返していくうちに、ネットの中で見たクラフト作品を追っかけて東京の模型倶楽部と情報交換ができるようになり、はまってしまいました。

クラフトの意味は手作りの工芸品であり、



クラフト紙は強度が高い紙のうえ、安価で手に入りやすく私にはうってつけの趣味となりました。作業工程は頭の中で過去の思い出に航空機、帆船、鉄道等の写真を基に細かい部分を作成し、実物の？分の1程度の大きさで仕上げていきます。今まで数え切れないぐらいの作品を製作しましたが、できあがった作品はどれも愛着心が生まれ、感慨深いもの



《本物そっくりのSL 細かなところまで再現された戦艦》

があります。ただ退色や色変わりの欠点があり保管したいへんです。作品が増えすぎてスペースが狭くなれば知人等に譲ってしまうことも何度もありました。耐えがたい気持ちもありませんが、次の作品製作への意欲が強いので仕方ありません。これからも、体をいたわりながら頑張り、数々の作品を作っているびり暮らしていこうと考えています。

ボランティア紹介

☆心地よい汗をかきながら

加納 久則さん（徳島）

令和2～3年度は新型コロナウイルス感染拡大による影響で、ボランティア活動の自粛が続きました。令和4年度に入り感染者数が減少したことや、ワクチン接種の増加により基本的な予防を遵守して、5月21日におよそ2年半ぶりに「とくしま・まちなか花ロードプロジェクト」の花植えイベントに、現役NTT社員及び家族と共にNTT徳島ボランティアOB会会員9名が参加しました。徳島を訪れる観光客をはじめ市民の皆さんに気持ちよく過ごしてもらう目的で、NPO法人徳島市の「新町川を守る会」が主催して年3～4回開催されます。参加者全員が久しぶりでしたが、テキパキと花植え作業をおこない約1時間程度で35,000本のペチュニアの花植えを終えました。

また、7月10日には新しく赴任されたNTT徳島支店長及びNTT社員等と共にボランティアOB会員11名が、四国の大河吉野川北岸河口の土手清掃を実施しました。およそ1



《吉野川北岸河口の土手清掃に参加の皆さん》

年9月ぶりの清掃作業で、最河口には5月に開通した四国横断道の一部である「サンライズ大橋」を臨んで、1時間程度「こちよい汗を掻きながら、微力ながらゴミ収集の一助をなりました。参加された会員のみなさん、本当にお疲れ様でした。



《「とくしま・まちなか花ロードプロジェクト」に参加の皆さん》

今後も基本的な新型コロナウイルス感染予防をおこないながら、ボランティア活動に寄与したいと考えています。これからも、当会のモットーである「あまり無理をせず、長続きすること」を守りボランティア活動をおこないます。

物故者叙位叙勲

☆瑞宝单光章 合田 始 様 (松山市)

R 4・5・2 逝去 98 歳

☆瑞宝单光章 梶田 留喜 様 (香美市)

R 4・5・13 逝去 90 歳

☆瑞宝双光章 楠瀬 邦夫 様 (高知市)

R 4・5・30 逝去 93 歳

敬 弔

次の方々が逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



(故人のお名前) (逝去年月日) (享年) (生前居住地)

(愛媛県)

志賀 幸一 様 R 4・2・15 90 西条市

深田 勝利 様 R 4・6・3 77 松山市

坪内 勝信 様 R 4・6・10 77 松山市

安部 孝 様 R 4・7・7 90 松山市

高橋 昌平 様 R 4・7・7 95 松山市

池田 秀夫 様 R 4・7・28 83 松山市

川口 勇 様 R 4・8・20 93 松山市

松浦 虎雄 様 R 4・8・31 96 松山市

吉岡ツヤ子 様 R 4・9・1 89 新居浜市

(香川県)

野田 都 様 R 4・4・18 90 高松市

三崎 歌松 様 R 4・4・26 92 高松市

香西 敏生 様 R 4・6・20 90 高松市

山地ユキ工 様 R 4・6・24 103 坂出市

丸岡 幸春 様 R 4・7・15 90 丸亀市

弾正原淳子 様 R 4・8・2 86 高松市

金清 道保 様 R 4・8・17 93 善通寺市

(徳島県)

岩間 健 様 R 4・6・3 75 徳島市

尾方 義治 様 R 4・7・19 77 美馬市

森岡 純子 様 R 4・8・20 88 鳴門市

大石 保夫 様 R 4・8・29 75 吉野川市

(高知県)

岡林 綾美 様 R 4・6・29 98 いの町

北川 澄夫 様 R 4・7・19 89 安芸市

畠中 民文 様 R 4・8・1 77 土佐市

西村 義一 様 R 4・9・9 93 宿毛市

表紙の言葉

松山城のお堀には街中にありながら美しい青い羽根をもった翡翠(かわせみ)が住んでいます。

青い鳥は幸せを運ぶ鳥とも言われており、今回の200号の記念誌に掲載し会員の皆様にも更なる幸せが来ること願って掲載しました。(200号編集委員会)

編集後記

令和4年6月28日に各県支部の事務局長・編集委員の出席の下に開催しました200号記念誌の編集会議にて意見を出し合い記事の投稿依頼等についても尽力頂き、お陰様で、沢山の方々から投稿を頂くことが出来ました。ありがとうございました。

また、ご多用中のところを原稿執筆にご協力頂きました皆様方には誠にありがとうございました。お陰様で記念すべき200号が発行できましたことを編集会議出席者一同、厚く御礼申し上げます。

最後に、この電友会会報が第300号、第400号へと永く続いて発行されますことを祈念いたします。

四国電友会会報 第二〇〇号

発行 令和四年十月

編集責任者 電友会四国地方本部

事務局長 柳原 寛信

NTT西日本四国支店内

電話 (〇八九) 九三六二〇三三

印刷 南海プリント株式会社

Voyage
118

神秘の地球に出逢う旅 <地中海・中南米・南太平洋コース>

2024年8月16日(金)～2024年12月1日(日)[横浜発着108日間]
2024年8月17日(土)～2024年12月2日(月)[神戸発着108日間]

彼方の輝きを追いかけ、地球の壮大な魅力であふれるアイスランドへ。「オーロラベルト」の中を航海する5日間は毎晩がオーロラ鑑賞のチャンスです。また、世界三大ピラミッド、天空都市マチュピチュ遺跡、モアイ像がたたずむイースター島など、「いつか行きたい」が一度に叶う、夢の航路です。



Voyage
119

南半球をめぐる大航海 <アフリカ・南米・オセアニアコース>

2024年12月10日(火)～2025年3月27日(木)[横浜発着108日間]
2024年12月11日(水)～2025年3月28日(金)[神戸発着108日間]

冬の日本を出航して、向こうは地球の「南半球」。野生動物たちが躍動するアフリカ大陸や、南米パタゴニアのフィヨルド、豊かな自然と調和したオセアニアの街々をめぐる大航海が船出を迎えます。



Voyage
120

短くも美しい夏の北欧・アラスカへ <北欧&アラスカコース>

2025年4月23日(水)～2025年8月7日(木)[横浜発着107日間]
2025年4月24日(木)～2025年8月8日(金)[神戸発着107日間]

陽光まばゆい初夏の季節は、北欧観光のベストシーズン。雄大な自然と美しい街並みの北欧全5か国を歴訪します。悠久の時間が創り出した、雄大で神秘的な景観に包まれるフィヨルド遊覧も楽しみです。



まずはお問い合わせ・資料請求(無料)

夢の世界一周はパンフレットから

株式会社み・のり

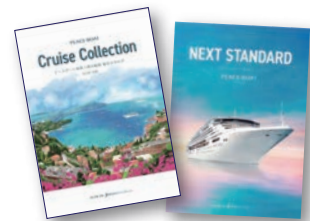
亀さん旅行社

代表:形上 哲也(四国電友会会員)
<総合旅行業務取扱管理者>

☎:089-909-3939

☎:090-8699-5275

✉:minority@minority-turtle.co.jp



世界一周パンフレット

四国電友会 会報創刊 200号
おめでとうございます。

亀さん旅行社がお勧めする
PEACE BOATの2023年夏以降の
クルーズラインナップをご紹介します！

世界ではwithコロナの旅行スタイルが確立され、2019年と同等、或いはそれ以上に旅行・観光業界が回復をしている国もあります。いよいよ日本も、人生を豊かにする感動の旅に出発する日もそう遠くはないでしょう。
ピースボートクルーズは、19日間の日本一周クルーズから世界各地を訪問する地球一周クルーズまで様々なコースをご用意しております。初めての方もクルーズファンの方も、素敵な夢の航路を見つけてください。

夏ショートクルーズ～日本一周の船旅～

2023年7月29日(土)～2023年8月16日(水)
[東京発着19日間] ※東京～高知の間乗船も可能

クルーズ乗船が未経験の方でも久々の方でも、気軽に体験乗船ができるPEACE BOATオリジナルのショートクルーズをご用意いたしました。旅の楽しみが凝縮された日本をめぐるクルーズの出航です。

海鮮丼(北海道)

ひがし茶屋街(金沢)

五稜郭(函館)

松島(宮城)

Voyage 117

初夏限定、雪解けの大自然に出逢う旅 <北欧&アラスカコース>

2024年4月13日(土)～2024年7月25日(木) [横浜発着104日間]
2024年4月14日(日)～2024年7月26日(金) [神戸発着104日間]

神秘的なブルーが重なり合う、アラスカフィヨルド。荘厳な静けさが訪れるものを包み込みます。豊かな自然と隣り合う北米大陸の国々への訪問をハイライトに、洗練された美しさが魅力の北欧や数々の世界遺産が待つヨーロッパ、太陽のきらめく中米を贅沢に堪能します。

コペンハーゲン市内(デンマーク)



こんなお悩みがある方は
「きらら保険サービス」に
ご相談ください。



交通トラブルが心配…



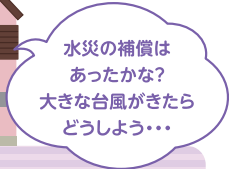
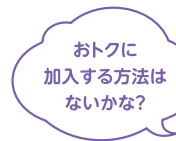
「通信機能」付き*
ドライブレコーダー特約

*2カメラ一体型端末ご利用の場合



- 1 前方はもちろん 後方の撮影も可能
- 2 ボタンを押すだけでオペレータに接続可能 事故時は自動で接続

**更新の度に保険料が
値上がりしてる…**



最適な補償や
おトクな保険期間について
ご提案いたします。

NTTグループ団体扱 自動車保険



今ご契約中のノンフリート等級による割増引を引継いで、

団体扱割引適用で

さらに**35%***割引に!

*1 団体扱割引35%は2022年11月1日~2023年10月31日までの始期契約に適用。割引率は団体の損害率等により毎年見直しされます。*ご契約の際は必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。団体扱の対象となる方の範囲(契約者・記名被保険者・車両所有者)や団体扱特約失効時の取り扱い、ご不明な点等につきましては、きらら保険サービス株式会社までお問い合わせください。

*「あんしん太助」は、東京海上日動「トータルアシスト自動車保険(総合自動車保険)」[TAP(一般自動車保険)]のNTTグループ用販売タイプのペットネームです。

引受保険会社



東京海上日動

22-TC03753(2022年8月作成)



NTTグループ団体扱

火災保険

団体扱のご契約で

10%*割引に!

*2 大口団体割引は、2022年10月1日~2023年9月30日に保険始期日があるご契約に適用されます(ただし、地震保険には適用されません)。大口団体割引は団体の引受実績に応じて毎年10月1日に見直されます。

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

取扱代理店

NTTグループ総合保険代理店
きらら保険サービス株式会社

〒105-6791 東京都港区芝浦1丁目2番1号
シーバンスN館

お客様コンタクトセンター

0120-590-251

受付時間 | 平日 午前9:00~午後4:00
(土・日・祝日はお休みさせていただきます)

<https://www.ki-ra-ra.jp/>

きらら保険

検索



2022-023